

平 成 2 4 年

高齢期における社会保障に関する意識等調査報告書

厚生労働省政策統括官付政策評価官室

目 次

調 査 の 概 要	1
調 査 結 果 の 概 要	3
1 老後感	3
2 老後とは何歳からか	5
3 老後の不安	6
4 就労希望年齢	7
5 老後の働き方	8
6 老後の収入源	9
7 老後の生きがい	12
8 老後生活における子どもとの同・別居について	14
9 年をとって生活したいと思う場所	16
10 自宅で介護される場合の状況	19
11 今後増えて欲しいと思う介護関係の事業所・施設	20
12 老後生活と社会保障（年金、医療、福祉など）の関係について	22
13 重要だと考える社会保障の分野について	24
14 社会保障の給付と負担の関係について	28
15 少子高齢化が進行する状況における高齢者と現役世代の負担水準について	30
統 計 表	33
調 査 票	46

調 査 の 概 要

1 調査の目的

高齢化の進展に伴い、我が国の社会保障給付費は毎年増加を続けており、そのうち約7割が年金、高齢者医療、介護をはじめとする高齢者に対する給付となっている。

そこで、本調査においては、老後の生活感や社会保障に係る負担のあり方などについての意識を調査することで、社会保障制度改革を始めとした今後の厚生労働行政施策の企画・立案のための基礎資料を得ることを目的とした。

2 調査の対象

平成24年国民生活基礎調査（所得票）の対象単位区から無作為に抽出した360単位区内のすべての世帯の20歳以上の世帯員を調査対象とした。

（注）平成24年国民生活基礎調査は、東日本大震災の影響により、福島県を対象から除いたものとなっている。

3 調査の実施日

平成24年7月12日（木）

4 調査の事項

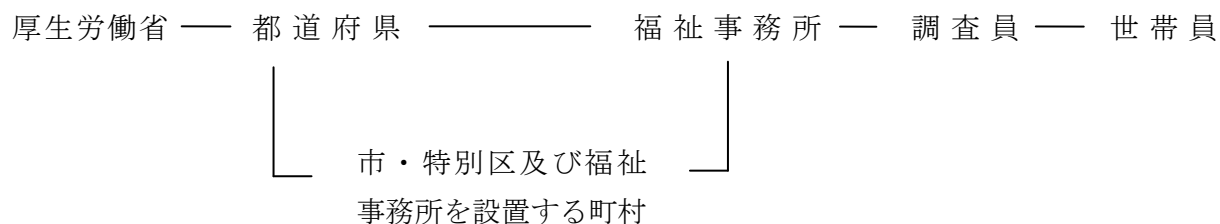
（1）性・出生年月

（2）老後生活のイメージ、老後の不安、老後の生計の手段、老後の生きがい、老後生活と社会保障の関係、今後の社会保障の給付と負担の関係等

5 調査の方法

あらかじめ調査員が配布した調査票に、調査対象となった世帯員が自ら記入し、後日調査員が回収する方式（留置自計方式）により実施した。

6 調査の系統



7 回収客体数及び集計客体数

回収客体数	集計客体数
11,614人	11,294人

8 集計客体の性・年齢階級別客体数

上段：世帯員数
下段：構成割合(%)

	総数	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	(再掲) 65歳以上
総数	11,294 100.0	1,142 10.1	1,656 14.7	1,794 15.9	1,808 16.0	2,263 20.0	2,631 23.3	3,622 32.1
男性	5,262 100.0	533 10.1	774 14.7	905 17.2	845 16.1	1,070 20.3	1,135 21.6	1,589 30.2
女性	6,032 100.0	609 10.1	882 14.6	889 14.7	963 16.0	1,193 19.8	1,496 24.8	2,033 33.7

9 利用上の注意

調査結果の概要の図において、一部表章を省略した数値については、巻末統計表に掲載している。

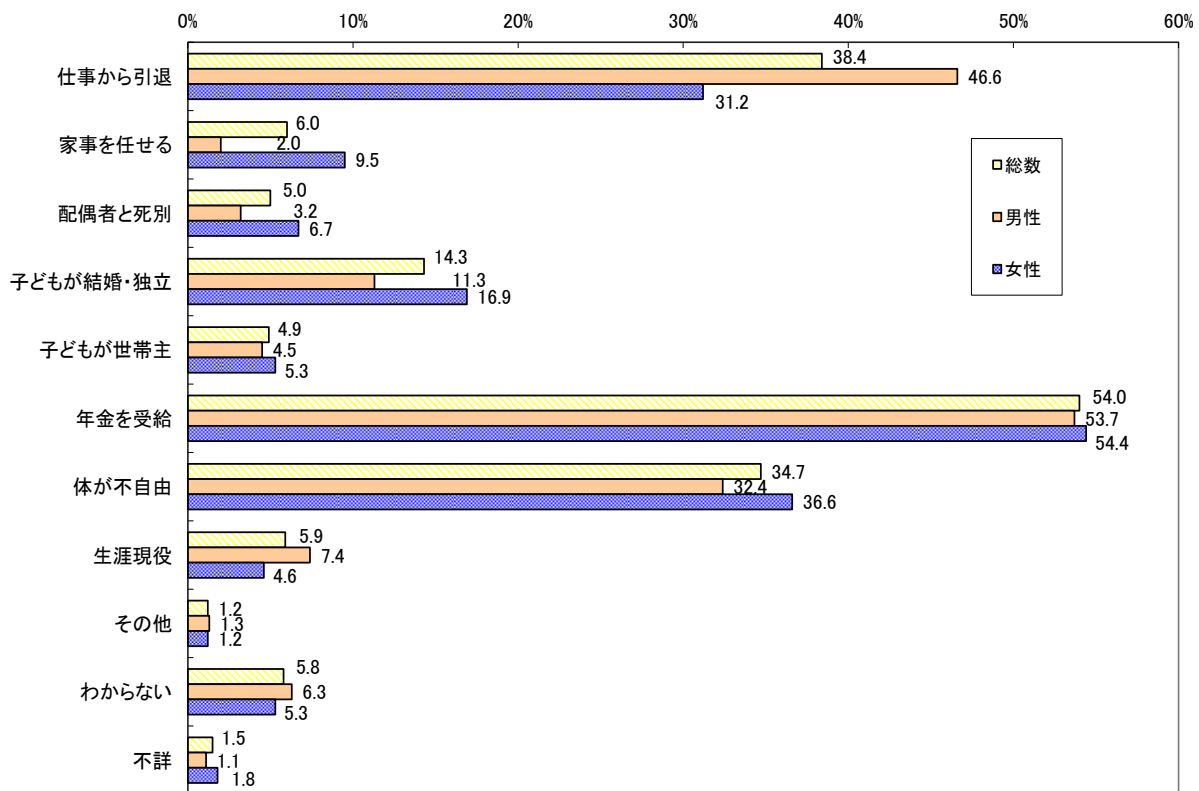
調査結果の概要

1 老後感

・「老後生活」のイメージは5割以上が年金受給生活

老後の生活といった場合、どういう生活を思い浮かべるかについては、「年金を受給するようになった生活」が最も多く 54.0%、次いで「仕事から引退したり、仕事を人に任せるようになった生活」が 38.4%、「老化に伴い体の自由がきかなくなった生活」が 34.7%、「子どもが結婚したり独立した後の生活」が 14.3%となっている。性別にみると、男性女性ともに「年金を受給するようになった生活」の割合が最も多くなっているが、次に多いのは、男性では「仕事から引退したり、仕事を人に任せるようになった生活」で 46.6%となっているのに対し、女性では「老化に伴い体の自由がきかなくなった生活」が 36.6%となっている。

図1 「老後の生活」で思い浮かべる生活（複数回答）



年齢階級別にみると、いずれの年齢層においても「年金を受給するようになった生活」が最も多くなっている。

「仕事から引退したり、仕事を人に任せるようになった生活」や「子どもが結婚したり独立した後の生活」については、若い世代で多くなっている。

また、「老化に伴い体の自由がきかなくなった生活」「配偶者と死別した生活」「生涯現役と考えているので、現役と特に変わるところはない」「家事を人に任せるようになった生活」については、高年齢層で多くなっている。

表１ 年齢階級別にみた「老後の生活」で思い浮かべる生活（複数回答）

（単位：％）

	総 数	仕事から 引退	家事を 任せる	配偶者と 死別	子どもが 結婚・独立	子どもが 世帯主	年金を 受給	体が 不自由	生涯現役	その他	わからない	不 詳
総数	100.0	38.4	6.0	5.0	14.3	4.9	54.0	34.7	5.9	1.2	5.8	1.5
29歳以下	100.0	47.8	3.6	1.2	22.9	4.0	54.2	22.1	2.5	1.1	8.3	0.7
30～39歳	100.0	49.3	3.1	2.3	20.5	4.5	56.5	22.3	2.7	1.3	6.1	1.9
40～49歳	100.0	44.7	3.1	2.7	18.3	3.6	57.9	27.2	3.6	0.9	5.6	1.4
50～59歳	100.0	42.5	5.4	2.5	13.0	5.1	56.5	33.6	5.3	1.3	4.9	1.6
60～69歳	100.0	33.2	8.7	5.7	11.0	5.4	52.9	44.1	7.8	1.4	4.2	1.1
70歳以上	100.0	24.7	8.9	11.2	7.7	5.9	49.1	45.8	9.7	1.3	6.5	1.7
（再）65歳以上	100.0	26.4	9.2	10.1	8.4	6.0	49.4	45.6	9.6	1.2	5.9	1.7
男性	100.0	46.6	2.0	3.2	11.3	4.5	53.7	32.4	7.4	1.3	6.3	1.1
29歳以下	100.0	52.0	3.4	0.4	18.0	3.0	49.3	22.5	3.9	1.5	9.2	0.6
30～39歳	100.0	56.5	1.6	1.8	15.6	4.3	52.8	20.5	3.5	1.2	7.9	1.4
40～49歳	100.0	52.4	1.0	1.9	14.0	3.0	55.6	26.0	4.8	0.4	6.6	0.9
50～59歳	100.0	49.1	1.2	1.4	9.7	4.7	55.6	30.4	6.9	1.8	5.7	1.3
60～69歳	100.0	42.6	2.0	3.9	7.9	5.2	55.0	40.5	9.3	1.5	4.8	1.0
70歳以上	100.0	34.4	3.0	7.0	7.7	5.6	52.1	44.3	12.2	1.6	5.6	1.3
（再）65歳以上	100.0	35.6	2.9	6.7	7.5	5.9	51.4	44.1	12.1	1.4	5.5	1.3
女性	100.0	31.2	9.5	6.7	16.9	5.3	54.4	36.6	4.6	1.2	5.3	1.8
29歳以下	100.0	44.2	3.8	2.0	27.1	4.9	58.5	21.7	1.3	0.8	7.6	0.8
30～39歳	100.0	43.1	4.4	2.7	24.7	4.6	59.6	23.8	2.0	1.5	4.5	2.4
40～49歳	100.0	36.9	5.3	3.6	22.7	4.3	60.2	28.5	2.4	1.3	4.6	1.9
50～59歳	100.0	36.7	9.1	3.4	15.9	5.4	57.3	36.3	3.9	0.9	4.2	1.9
60～69歳	100.0	24.7	14.7	7.2	13.8	5.6	51.0	47.3	6.4	1.3	3.8	1.3
70歳以上	100.0	17.3	13.4	14.4	7.8	6.0	46.9	46.9	7.8	1.1	7.2	2.1
（再）65歳以上	100.0	19.2	14.1	12.8	9.1	6.1	47.8	46.7	7.6	1.1	6.2	1.9

2 老後とは何歳からか

・老後は「65 歳から」と「70 歳から」に分かれる

何歳ぐらいから老後と考えるかについては、「70 歳から」が 32.0%、「65 歳から」が 28.6%と、ほぼ同じ割合になっている。

年齢階級別にみると、他の年齢層に比べ、若い世代では「60 歳から」の割合が多くなっているのに対し、高年齢層では「75 歳から」「80 歳以上」の割合が多くなっている。

図2 何歳から老後と考えるか

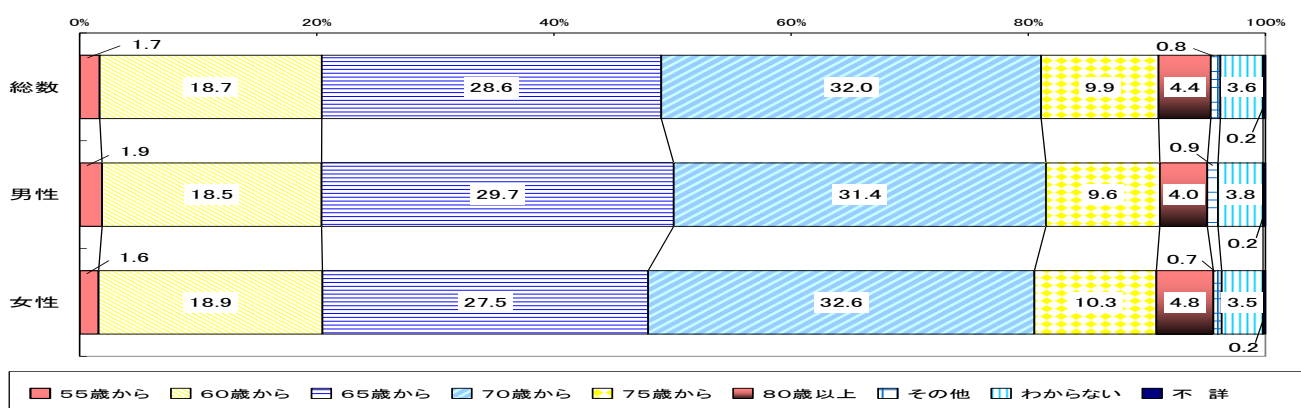
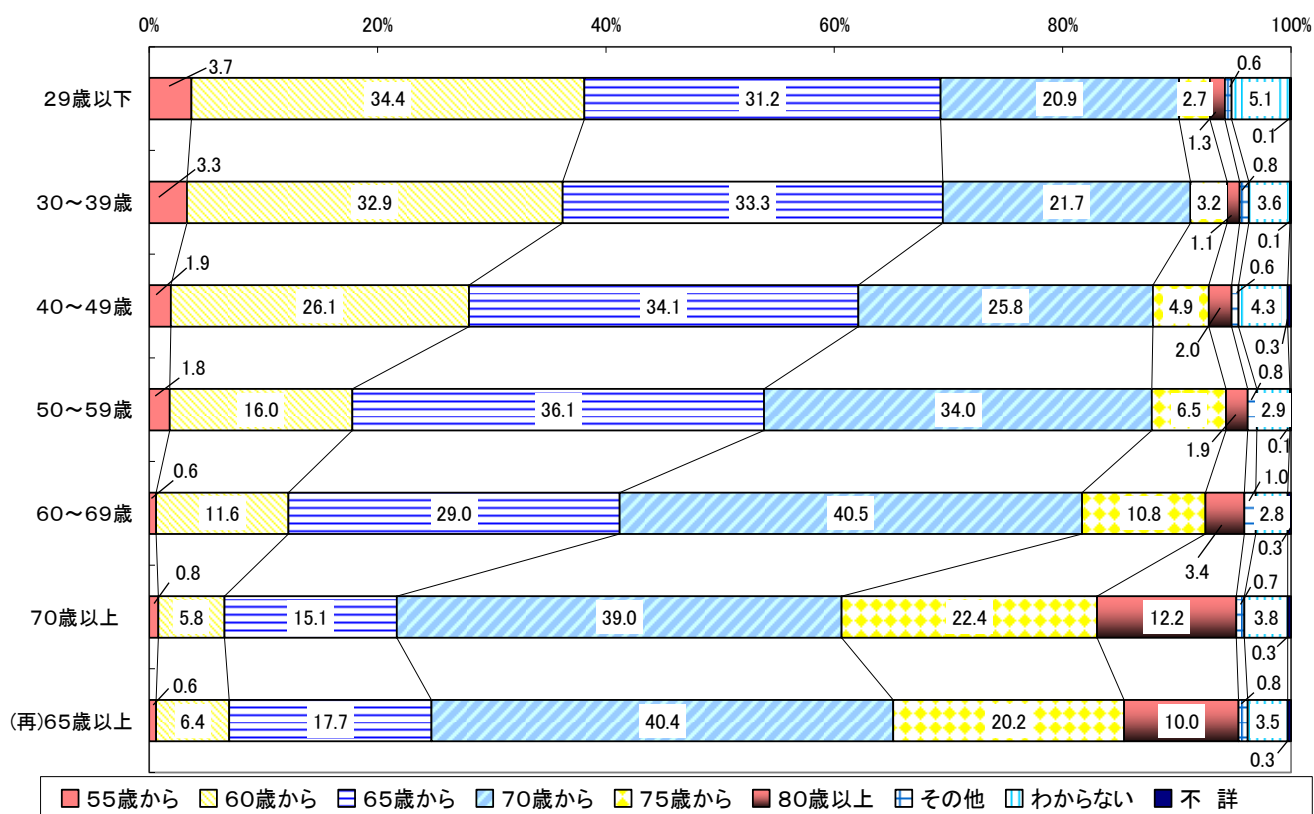


図3 年齢階級別にみた何歳から老後と考えるか



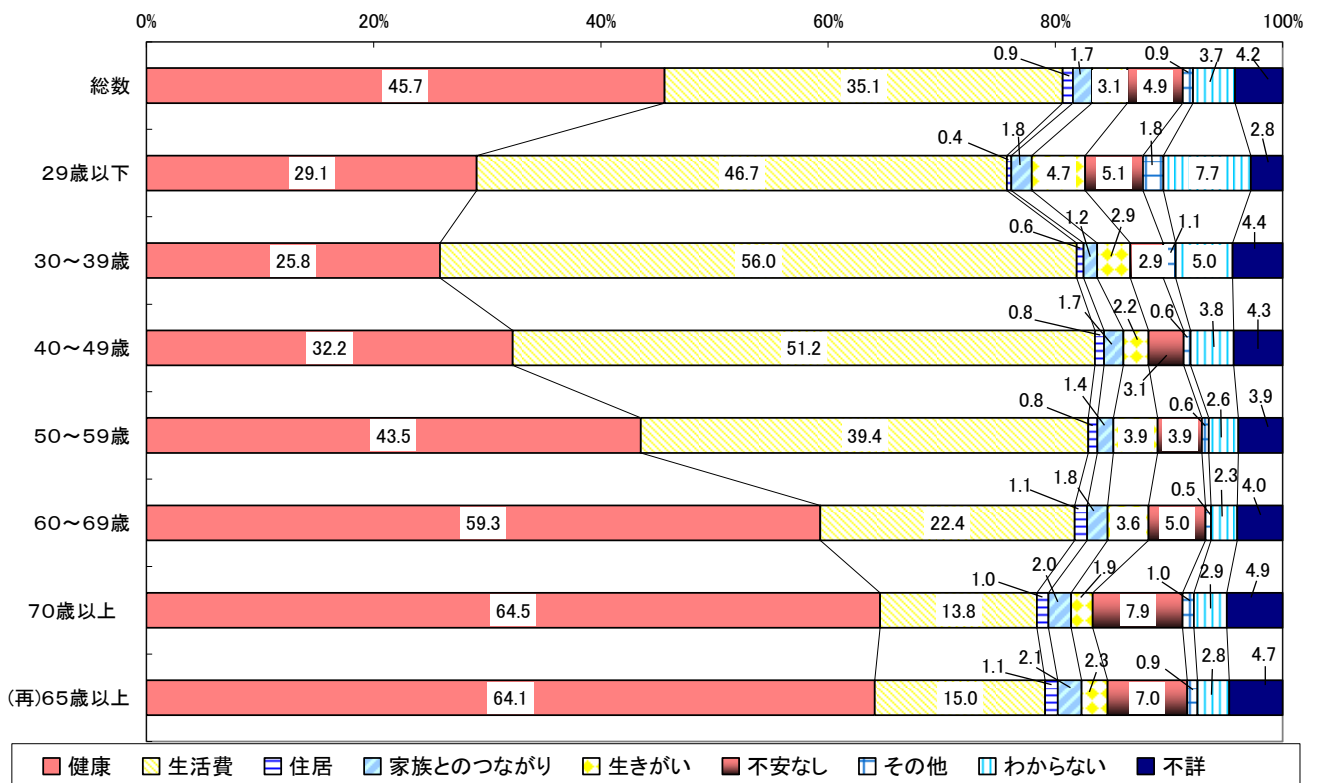
3 老後の不安

・最も不安なのは健康

老後において最も不安に感じるものは、「健康の問題」が最も多く 45.7%、次いで「生活費の問題」が 35.1%となっている。

年齢階級別にみると、若い世代では「生活費の問題」の割合が多くなっているのに対し、高年齢層では「健康の問題」の割合が多くなっている。

図4 年齢階級別にみた老後において最も不安に感じるもの



4 就労希望年齢

・生涯働き続けたいとする者が約8%

何歳まで働きたいかについては、「65歳まで」とする者が27.3%、「60歳まで」とする者が19.6%、「70歳まで」とする者が17.6%となっている。

また、「生涯働き続けたい」とする者は7.7%となっている。

年齢階級別にみると、年齢が高くなるにつれて、働きたいとする年齢が高くなっている。

図5 就労希望年齢

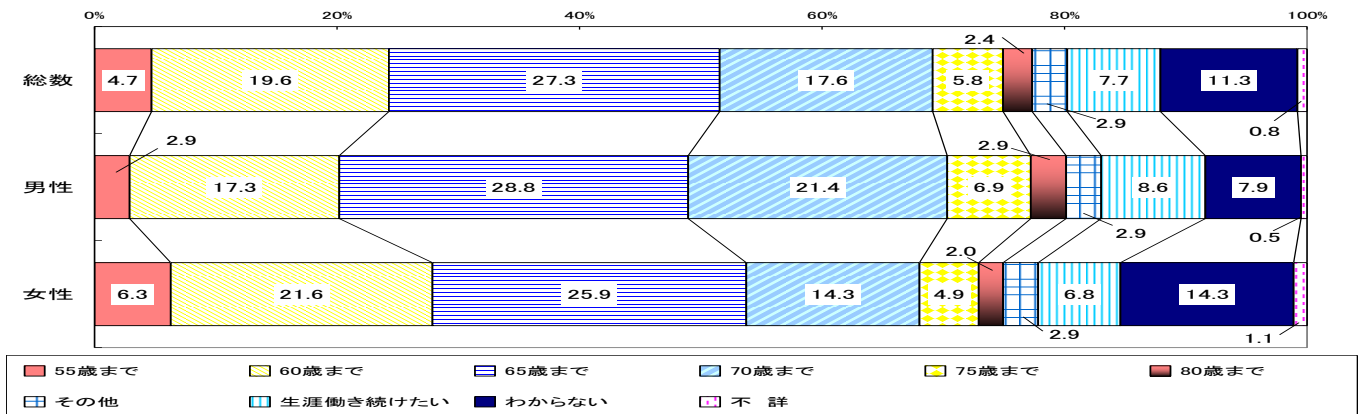


表2 年齢階級別にみた就労希望年齢

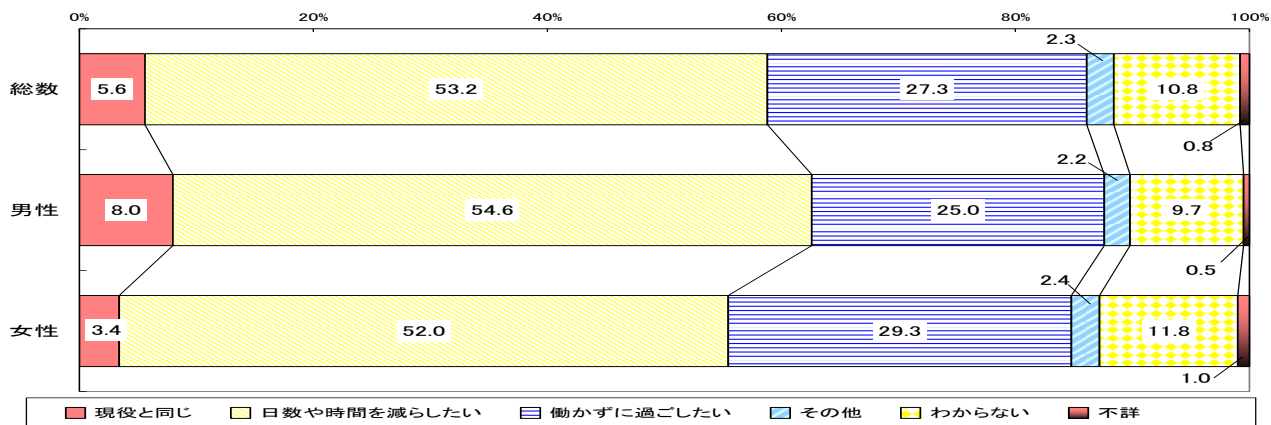
(単位: %)											
	総 数	55歳まで	60歳まで	65歳まで	70歳まで	75歳まで	80歳まで	その他	生涯働き続けたい	わからない	不 詳
総数	100.0	4.7	19.6	27.3	17.6	5.8	2.4	2.9	7.7	11.3	0.8
29歳以下	100.0	8.1	27.9	24.9	8.8	1.7	0.7	2.1	7.4	18.2	0.2
30～39歳	100.0	6.8	26.7	28.4	11.9	1.4	0.7	1.6	8.7	13.8	0.1
40～49歳	100.0	6.1	22.6	30.1	15.2	2.7	0.8	0.9	9.9	11.1	0.6
50～59歳	100.0	3.4	21.2	36.6	17.4	3.1	1.2	2.0	7.0	7.9	0.3
60～69歳	100.0	3.1	14.9	26.8	27.0	8.1	1.2	5.3	5.2	7.3	0.9
70歳以上	100.0	3.1	12.2	19.7	18.6	12.4	7.2	3.8	8.1	12.8	1.9
(再)65歳以上	100.0	3.0	13.1	20.0	21.2	12.4	5.8	4.2	7.5	11.1	1.7
男性	100.0	2.9	17.3	28.8	21.4	6.9	2.9	2.9	8.6	7.9	0.5
29歳以下	100.0	6.6	27.2	28.1	10.7	2.1	0.8	1.9	9.6	12.9	0.2
30～39歳	100.0	5.3	25.2	31.0	14.7	1.8	0.9	1.0	9.3	10.7	-
40～49歳	100.0	3.3	19.9	32.2	19.4	3.4	1.0	0.8	11.5	8.1	0.4
50～59歳	100.0	2.2	16.7	36.8	21.1	4.1	1.7	1.5	8.2	7.6	0.1
60～69歳	100.0	1.3	12.1	26.3	32.2	9.4	1.4	6.0	6.0	4.8	0.5
70歳以上	100.0	1.0	10.4	21.6	22.5	15.2	9.0	4.3	8.1	6.8	1.1
(再)65歳以上	100.0	0.8	11.1	20.8	25.6	15.1	7.1	4.8	7.7	6.0	1.0
女性	100.0	6.3	21.6	25.9	14.3	4.9	2.0	2.9	6.8	14.3	1.1
29歳以下	100.0	9.5	28.6	22.0	7.1	1.3	0.7	2.3	5.6	22.8	0.2
30～39歳	100.0	8.0	28.0	26.1	9.4	1.1	0.5	2.0	8.2	16.4	0.2
40～49歳	100.0	8.9	25.4	28.0	10.8	2.0	0.6	1.1	8.3	14.2	0.7
50～59歳	100.0	4.5	25.1	36.3	14.2	2.2	0.7	2.4	5.9	8.2	0.4
60～69歳	100.0	4.8	17.4	27.3	22.4	6.9	1.1	4.8	4.5	9.6	1.3
70歳以上	100.0	4.7	13.6	18.3	15.7	10.3	5.9	3.4	8.1	17.4	2.5
(再)65歳以上	100.0	4.8	14.8	19.3	17.8	10.2	4.8	3.7	7.3	15.2	2.2

5 老後の働き方

・日数や時間を減らしたいとする者が約5割

老後に働く場合、どのような働き方を希望するかについては、「働く日数を減らしたり、時間を短くして働きたい」の割合が53.2%、「老後は働かずに過ごしたい」が27.3%、「現役世代と同じようにフルタイムで働きたい」とする者は5.6%となっている。

図6 希望する老後の働き方



6 老後の収入源

・最も頼りにするのは公的年金

老後の生計を支える手段として最も頼りにする（1番目に頼りにする）収入源は、「公的年金」が最も多く 59.5%、次いで「自分の就労による収入」が 16.7%となっている。

年齢階級別にみると、65 歳以上では「公的年金」が 8 割弱を占めているが、若い世代では「自分の就労による収入」「貯蓄または退職金の取り崩し」「配偶者の就労による収入」など、「公的年金」以外の割合が多くなっている。

図7 老後の生計を支える手段として最も頼りにするもの

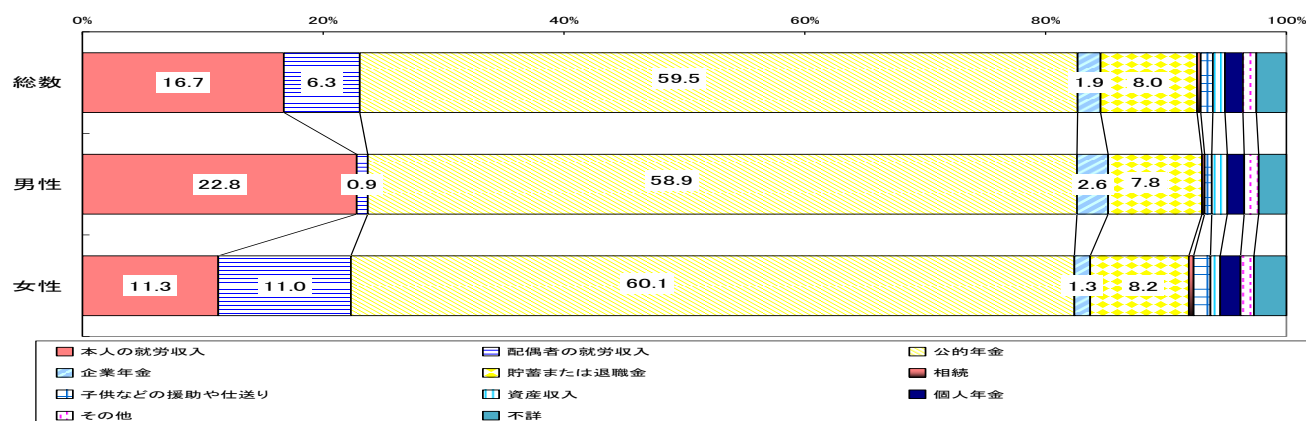
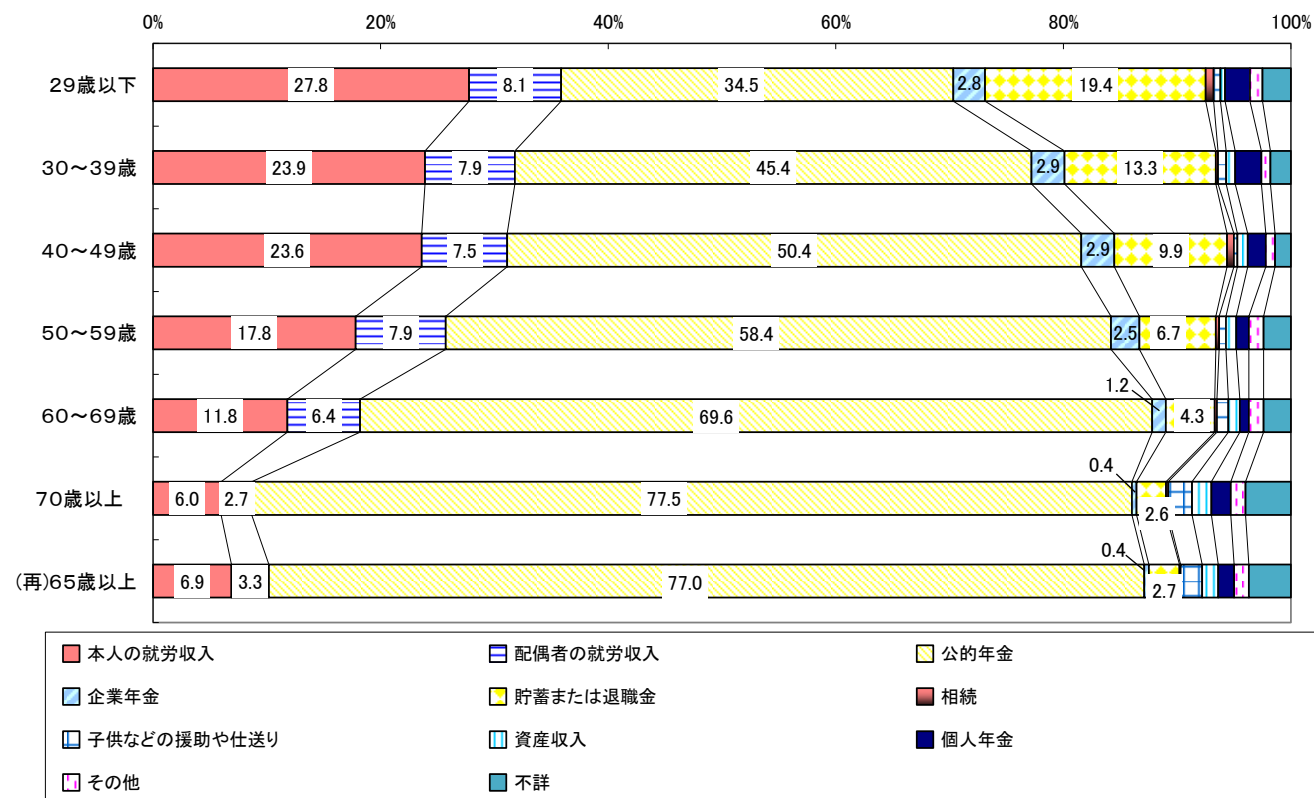
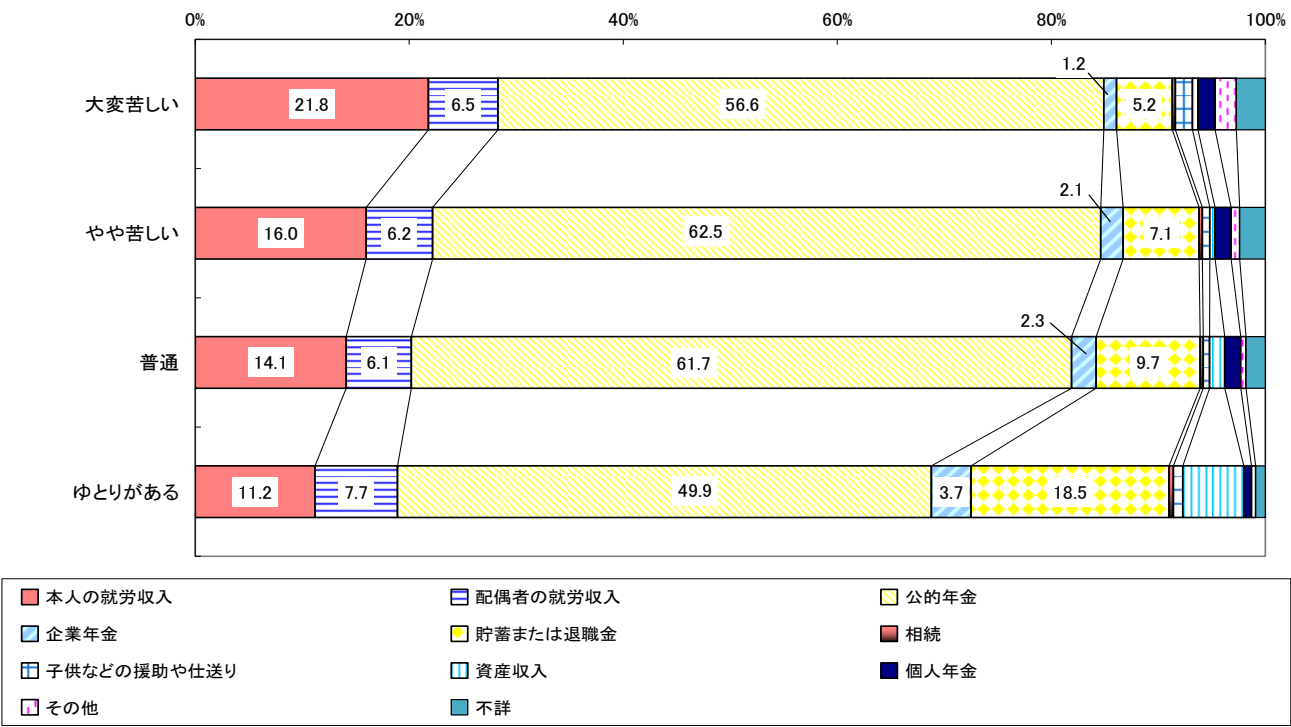


図8 年齢階級別にみた老後の生計を支える手段として最も頼りにするもの



これを世帯の生活意識の状況別にみると、ゆとりがあると感じている世帯層では、他の世帯層に比べ「貯蓄または退職金の取り崩し」「家賃や銀行の利子などの資産収入」の割合が多くなっている。

図9 世帯の生活意識の状況別にみた老後の生計を支える手段として最も頼りにするもの



(注) 客体数が少ないため、「ややゆとりがある」と「大変ゆとりがある」を合算し、「ゆとりがある」として集計している。

また、老後の生計を支える手段について、1番目に頼りにするものと2番目に頼りにするものの組合せをみると、「公的年金」と「貯蓄または退職金の取り崩し」を選択した者の割合が25.3%と最も多くなっており、次に「公的年金」と「自分の就労による収入」を選択した者が9.5%となっている。

表3 老後の生計を支える手段として1番目に頼りにするものと2番目に頼りにするものの組合せ

(単位:%)

		1番目に頼りにしているもの											
		総数	自分の就労による収入	配偶者の就労による収入	国民年金や厚生年金など、公的年金	勤務先の企業年金	貯蓄または退職金の取り崩し	親など親族からの相続	子どもなど親族からの援助や仕送り	家賃や銀行の利子などの資産収入	個人年金	その他	不詳
2番目に頼りにしているもの	総数	100.0	16.7	6.3	59.5	1.9	8.0	0.3	1.0	1.0	1.5	1.1	2.5
	自分の就労による収入	12.4	-	0.9	9.5	0.3	1.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.0	-
	配偶者の就労による収入	5.2	1.5	-	3.2	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	-
	国民年金や厚生年金など、公的年金	19.1	8.8	3.3	-	0.5	4.7	0.1	0.5	0.5	0.6	0.2	0.0
	勤務先の企業年金	5.2	0.6	0.1	4.0	-	0.4	0.0	-	0.0	0.0	-	-
	貯蓄または退職金の取り崩し	30.4	2.6	1.1	25.3	0.7	-	0.0	0.1	0.1	0.3	0.0	0.0
	親など親族からの相続	1.5	0.3	0.2	0.8	0.0	0.2	-	0.0	0.0	0.0	0.0	-
	子どもなど親族からの援助や仕送り	4.9	0.5	0.2	3.8	0.0	0.2	0.0	-	-	0.1	0.0	0.0
	家賃や銀行の利子などの資産収入	1.9	0.3	0.1	1.1	0.0	0.2	0.0	0.0	-	0.1	-	-
	個人年金	5.9	0.8	0.2	3.6	0.2	0.7	0.0	0.1	0.2	-	0.0	0.0
	その他	2.7	0.4	0.1	1.5	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.5	-
	不詳	10.9	0.9	0.2	6.5	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0	0.1	0.3	2.5

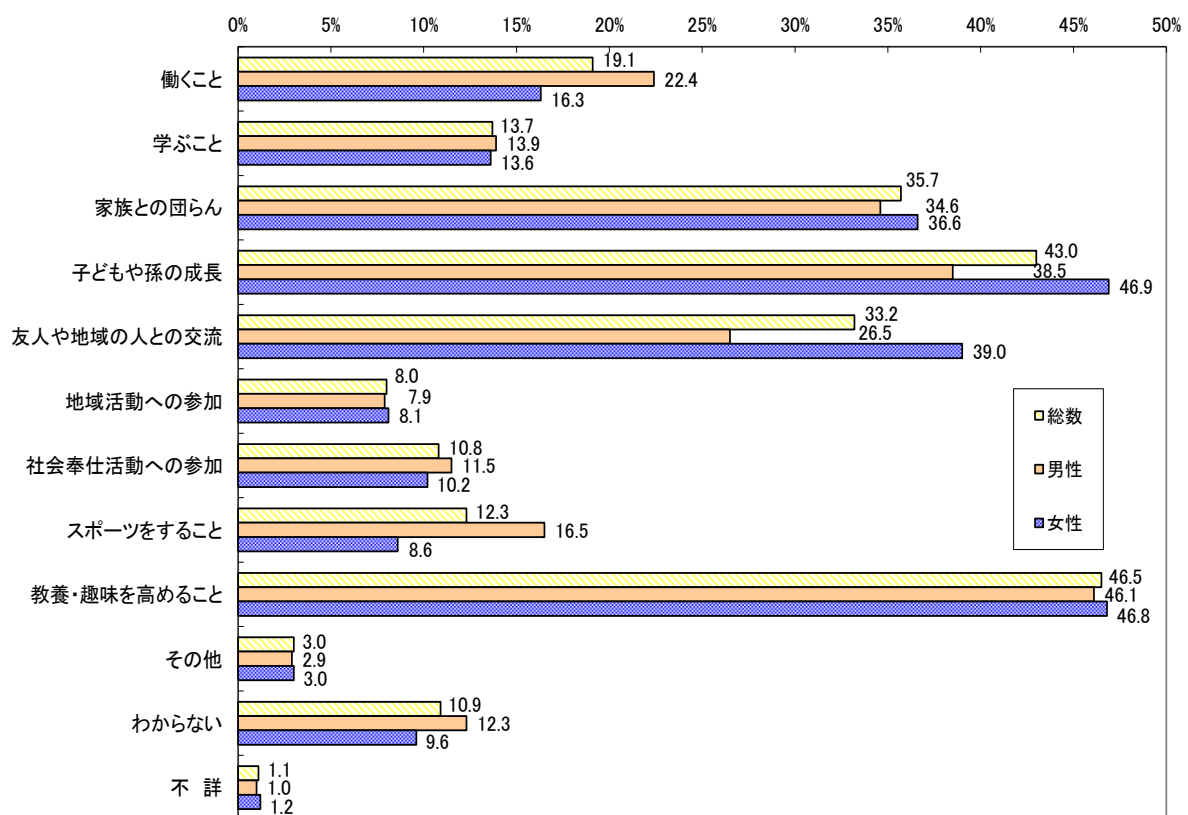
7 老後の生きがい

・老後の生きがいは教養・趣味を高めること

老後の生活の中で生きがいを感じることは、「教養・趣味を高めること」が最も多く 46.5%、次いで「子どもや孫の成長」が 43.0%、「家族との団らん」が 35.7%となっている。

性別にみると、男性は「教養・趣味を高めること」が 46.1%で最も多く、女性は「子どもや孫の成長」が 46.9%、「教養・趣味を高めること」が 46.8%となっている。また、「働くこと」「スポーツをすること」の割合は男性の方が多く、「子どもや孫の成長」「友人や地域の人との交流」の割合は女性の方が多くなっている。

図 10 老後の生きがい（複数回答）



年齢階級別にみると、「教養・趣味を高めること」「子どもや孫の成長」「家族との団らん」は若い世代で多くなっているのに対し、「友人や地域の人との交流」「働くこと」「地域活動への参加」は高年齢層で多くなっている。

表 4 年齢階級別にみた老後の生きがい（複数回答）

(単位: %)

	総 数	働くこと	学ぶこと	家族との 団らん	子どもや 孫の成長	友人や地域 の人との 交流	地域活動へ の参加	社会奉仕活 動への参加	スポーツを すること	教養・趣味 を高める こと	その他	わからない	不 詳
総数	100.0	19.1	13.7	35.7	43.0	33.2	8.0	10.8	12.3	46.5	3.0	10.9	1.1
29歳以下	100.0	12.4	10.1	44.0	46.8	29.1	7.6	6.7	14.5	52.0	1.8	11.6	0.6
30～39歳	100.0	11.6	11.2	41.6	49.7	26.1	7.1	8.4	10.4	51.3	2.2	12.3	0.8
40～49歳	100.0	19.0	14.2	35.1	42.9	29.5	6.4	10.9	11.5	53.9	1.1	10.7	1.0
50～59歳	100.0	21.2	17.0	34.0	40.3	32.1	4.8	15.1	12.7	53.4	2.2	8.6	0.8
60～69歳	100.0	23.2	15.8	31.2	41.8	36.9	6.8	14.0	15.3	44.5	3.7	9.3	1.4
70歳以上	100.0	22.0	12.7	33.9	40.0	39.2	13.0	8.4	10.2	32.8	5.1	12.7	1.6
(再)65歳以上	100.0	22.6	13.5	32.7	40.9	39.0	11.7	9.5	11.9	35.6	4.8	11.8	1.5
男性	100.0	22.4	13.9	34.6	38.5	26.5	7.9	11.5	16.5	46.1	2.9	12.3	1.0
29歳以下	100.0	15.6	9.2	38.8	40.0	23.3	7.7	6.6	20.5	47.8	2.6	13.1	0.8
30～39歳	100.0	13.0	12.3	40.7	42.9	20.9	6.5	7.8	14.6	50.9	2.2	14.6	0.4
40～49歳	100.0	21.3	14.8	34.9	38.5	21.8	6.3	10.5	15.8	53.7	0.8	12.0	0.9
50～59歳	100.0	26.9	17.4	33.4	34.7	24.6	4.6	16.2	16.6	51.1	2.8	10.3	0.5
60～69歳	100.0	27.4	15.1	29.8	38.3	31.4	7.2	14.2	17.6	42.5	3.4	11.5	1.9
70歳以上	100.0	24.7	12.8	33.8	38.0	32.3	13.5	10.9	15.6	35.7	4.8	12.7	1.4
(再)65歳以上	100.0	26.0	13.3	32.2	38.5	32.3	12.3	11.6	16.8	36.8	4.3	12.6	1.6
女性	100.0	16.3	13.6	36.6	46.9	39.0	8.1	10.2	8.6	46.8	3.0	9.6	1.2
29歳以下	100.0	9.7	10.8	48.4	52.7	34.2	7.6	6.7	9.4	55.7	1.0	10.3	0.5
30～39歳	100.0	10.3	10.2	42.4	55.7	30.7	7.7	9.0	6.8	51.7	2.3	10.3	1.2
40～49歳	100.0	16.5	13.5	35.3	47.5	37.5	6.4	11.2	7.2	54.1	1.5	9.3	1.1
50～59歳	100.0	16.3	16.6	34.5	45.3	38.7	5.0	14.1	9.3	55.3	1.6	7.1	1.0
60～69歳	100.0	19.4	16.3	32.5	45.0	41.9	6.5	13.8	13.2	46.3	4.0	7.3	1.0
70歳以上	100.0	20.0	12.6	33.9	41.5	44.5	12.7	6.5	6.1	30.7	5.3	12.7	1.8
(再)65歳以上	100.0	19.9	13.6	33.2	42.7	44.2	11.2	7.8	8.1	34.8	5.1	11.3	1.5

8 老後生活における子どもとの同・別居について

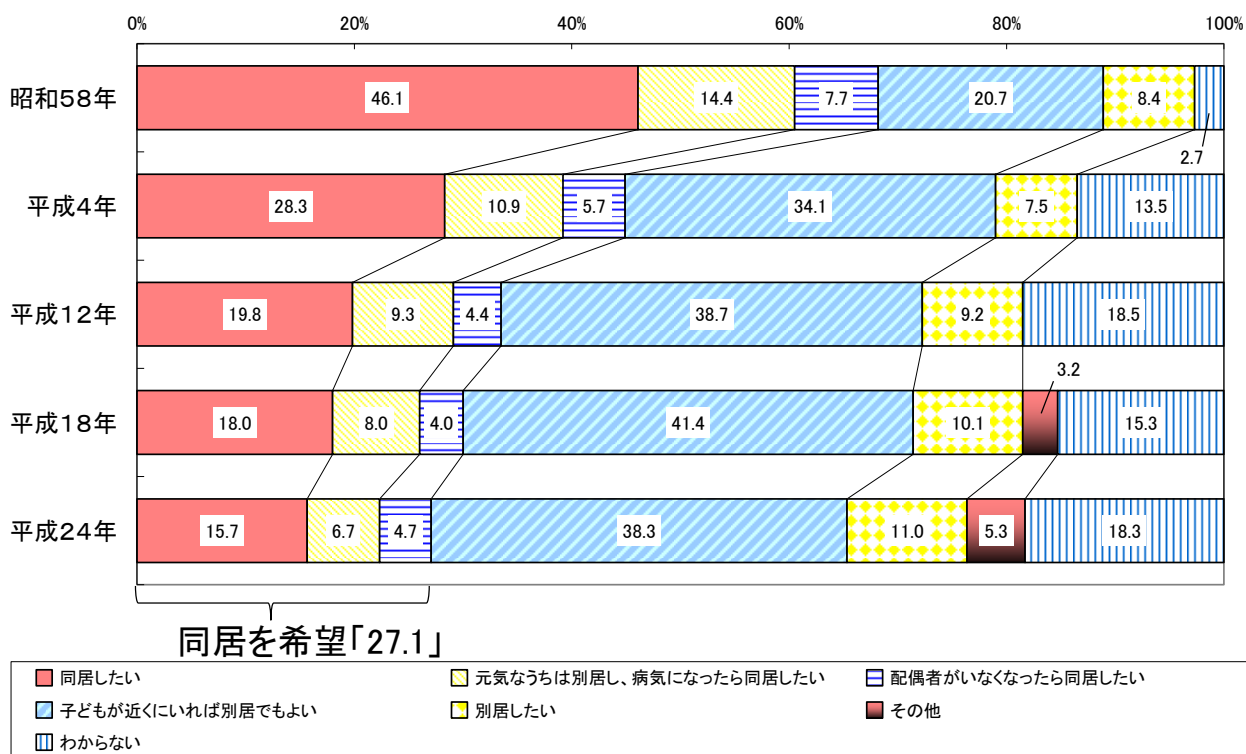
・子どもとの同居希望が減少傾向

現在、子どものいる者について、老後生活での子どもとの同居意識をみると、同居を希望する者は27.1%となっており、過去の調査結果と比べると、減少傾向となっている。

同居を希望する者の内訳をみると、条件なしで「同居したい」とする者が15.7%、「元気なうちは別居し、病気になったら同居したい」が6.7%、「配偶者がいなくなったら同居したい」が4.7%となっている。

一方、別居については、「子どもが近くにいれば別居でもよい」が38.3%、条件なしで「別居したい」が11.0%となっており、合わせて49.3%を占める。

図11 老後生活における子どもとの同・別居について

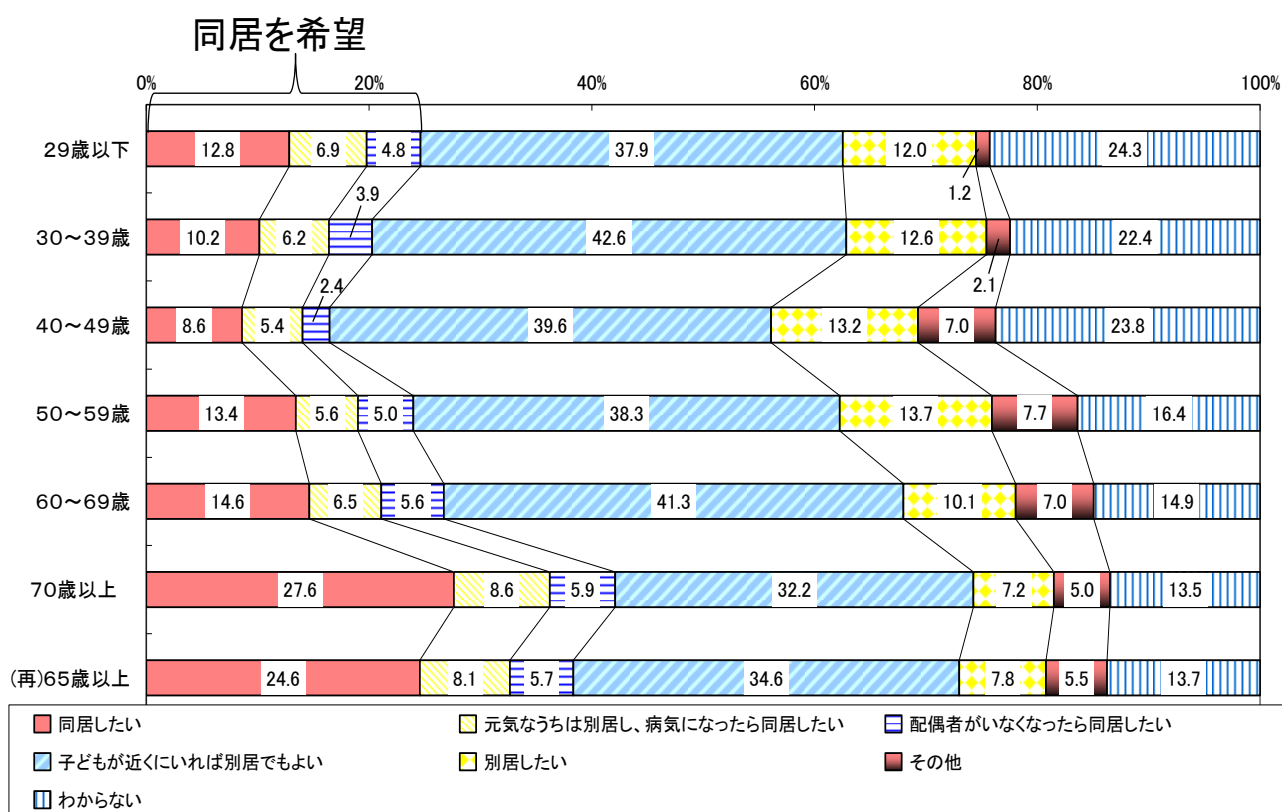


(注1) 平成18年調査において調査項目を一部変更し、「その他」を加えた。

(注2) 老後生活における子どもとの同・別居が不詳の客体を除いて集計している。

年齢階級別にみると、同居を希望する者の割合は、40歳代が最も少なく、70歳以上が最も多くなっている。

図 1 2 年齢階級別にみた老後生活における子どもとの同・別居について



(注) 老後生活における子どもとの同・別居が不詳の客体を除いて集計している。

9 年をとって生活したいと思う場所

- ・年をとって配偶者がいなくなり一人となった場合、在宅で生活したい者が約8割

年をとって「配偶者がいなくなり一人となった場合」にどのような場所で生活したいかについては、「住み続けた自宅（子どもの家への転居を含む）」（68.3%）などの在宅での生活を望む者が80.9%となっている。

年齢階級別にみても、すべての年齢階級で「住み続けた自宅（子どもの家への転居を含む）」が大きな割合を占めている。

図13 年をとって生活したい場所（配偶者がいなくなり一人となった場合）

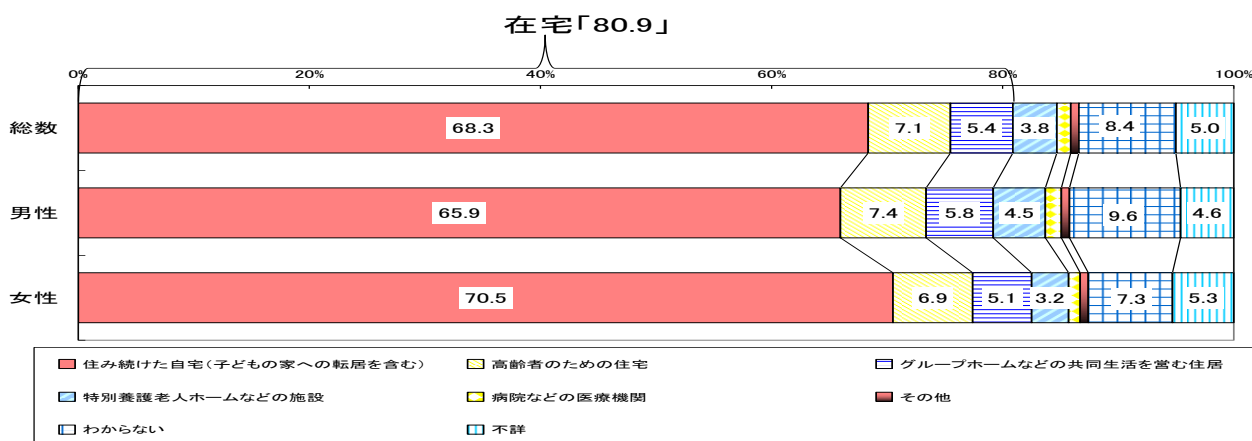
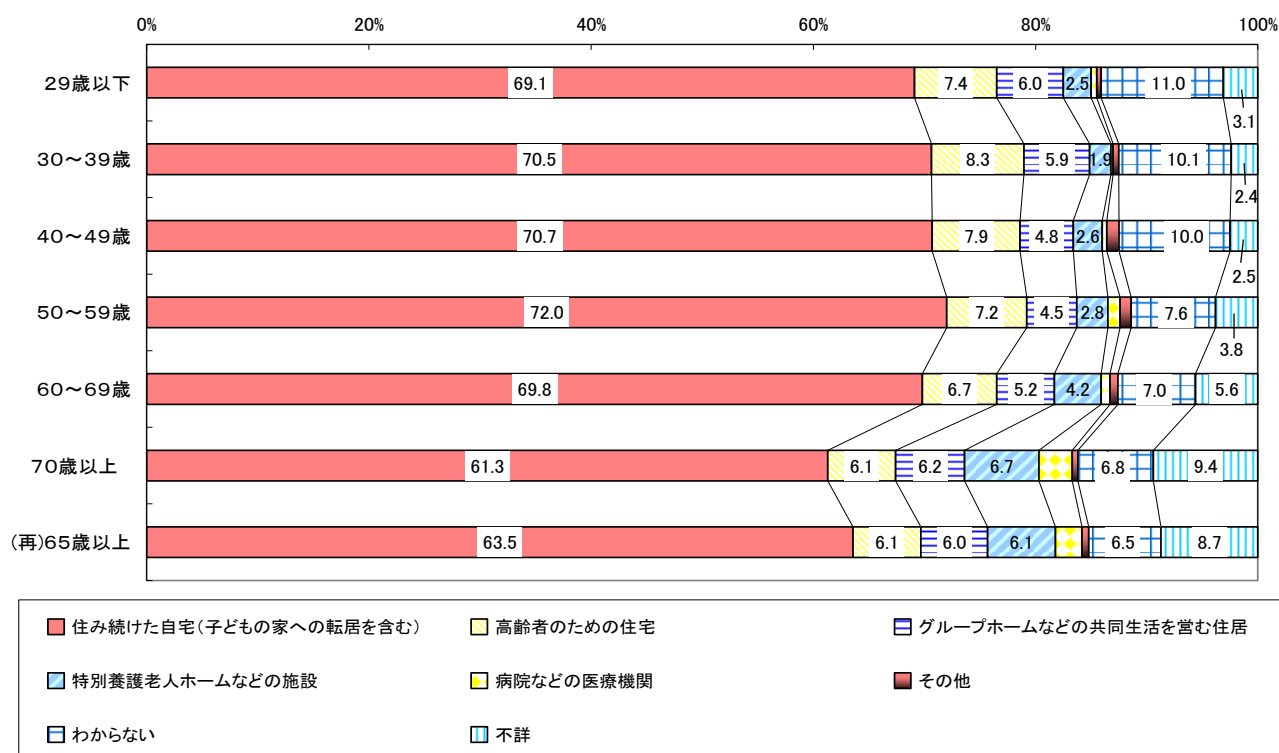


図14 年齢階級別にみた年をとって生活したい場所(配偶者がいなくなり一人となった場合)



・介護を必要とする場合、在宅で生活したい者が約4割、施設が約3割

年をとって「介護を必要とする場合」にどのような場所で生活したいかについては、「住み続けた自宅（子どもの家への転居を含む）」（18.7%）などの在宅での生活を望む者が43.1%、「特別養護老人ホームなどの施設」が29.8%、「病院などの医療機関」が9.2%となっている。年齢階級別にみると、すべての年齢階級で「特別養護老人ホームなどの施設」が多くなっている。

図15 年をとって生活したい場所（介護を必要とする場合）

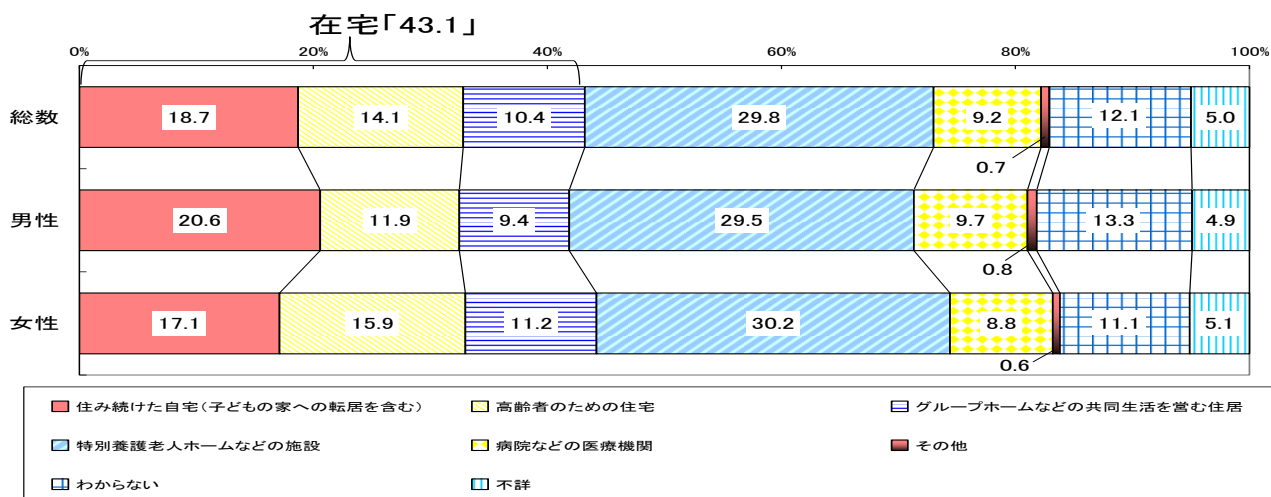
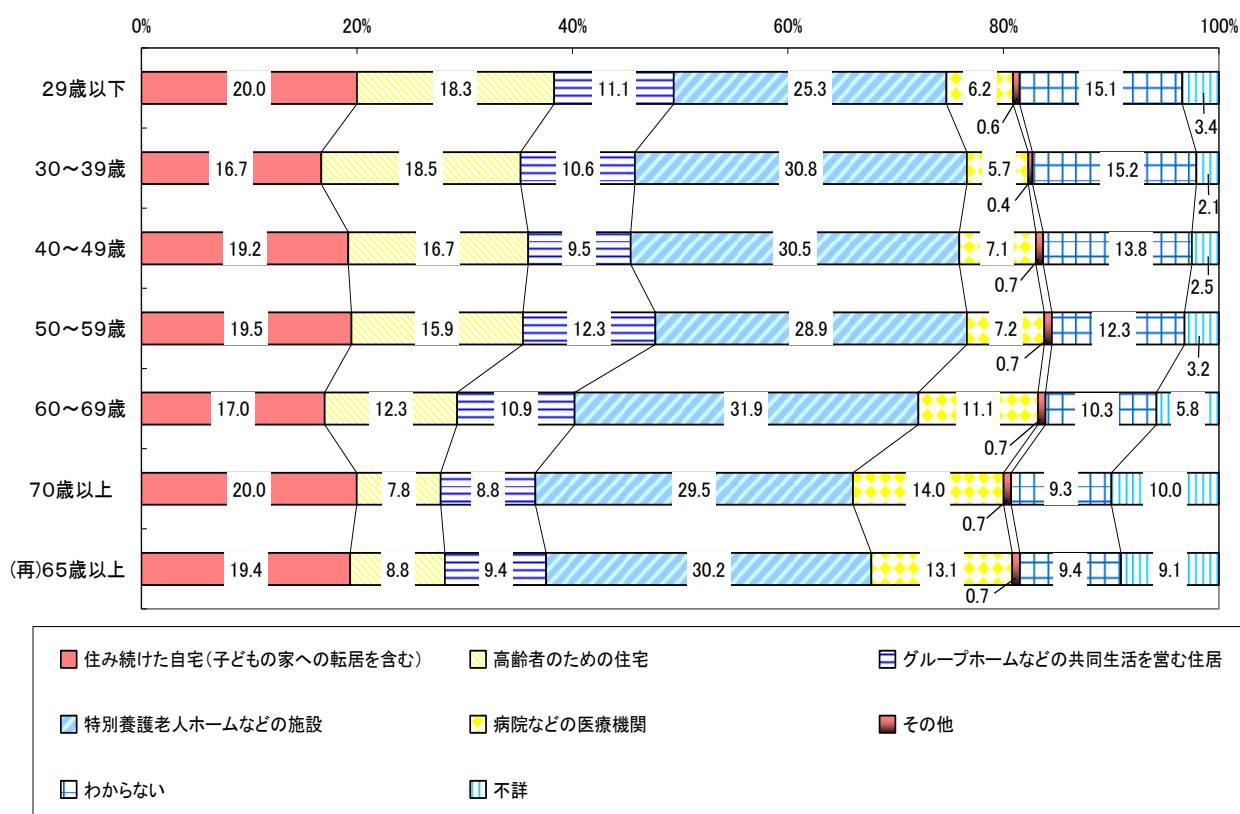


図16 年齢階級別にみた年をとって生活したい場所（介護を必要とする場合）



・人生の最後をむかえるときは、在宅で生活したい者が約4割、医療機関が約3割

年をとって「人生の最後をむかえるとき」にどのような場所で生活したいかについては、「住み続けた自宅（子どもの家への転居を含む）」（37.5%）などの在宅での生活を望む者が41.3%、「病院などの医療機関」が27.9%となっている。

年齢階級別にみると、年齢階級が上がるにつれ、「住み続けた自宅（子どもの家への転居を含む）」の割合が少なくなり、代わりに、「病院などの医療機関」の割合が多くなっている。

図17 年をとって生活したい場所（人生の最後をむかえるとき）

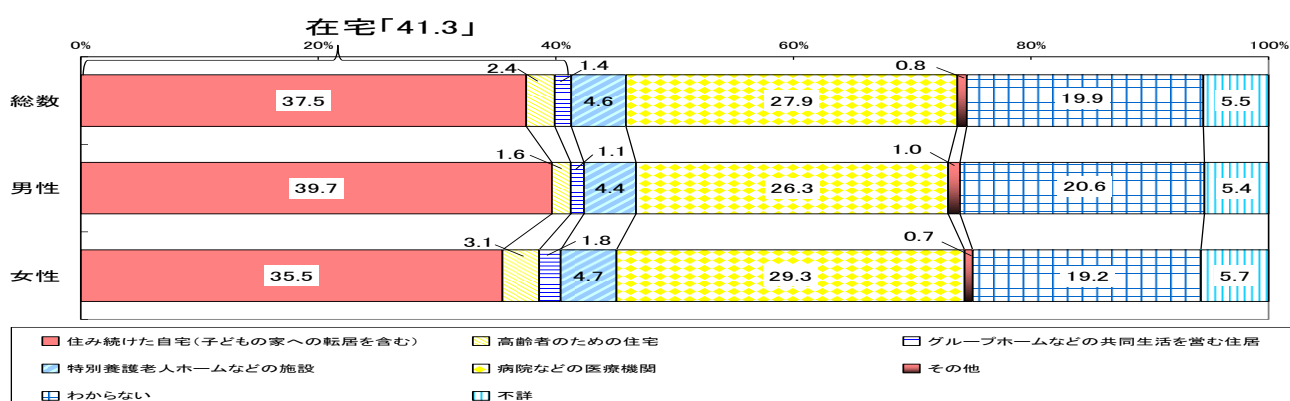
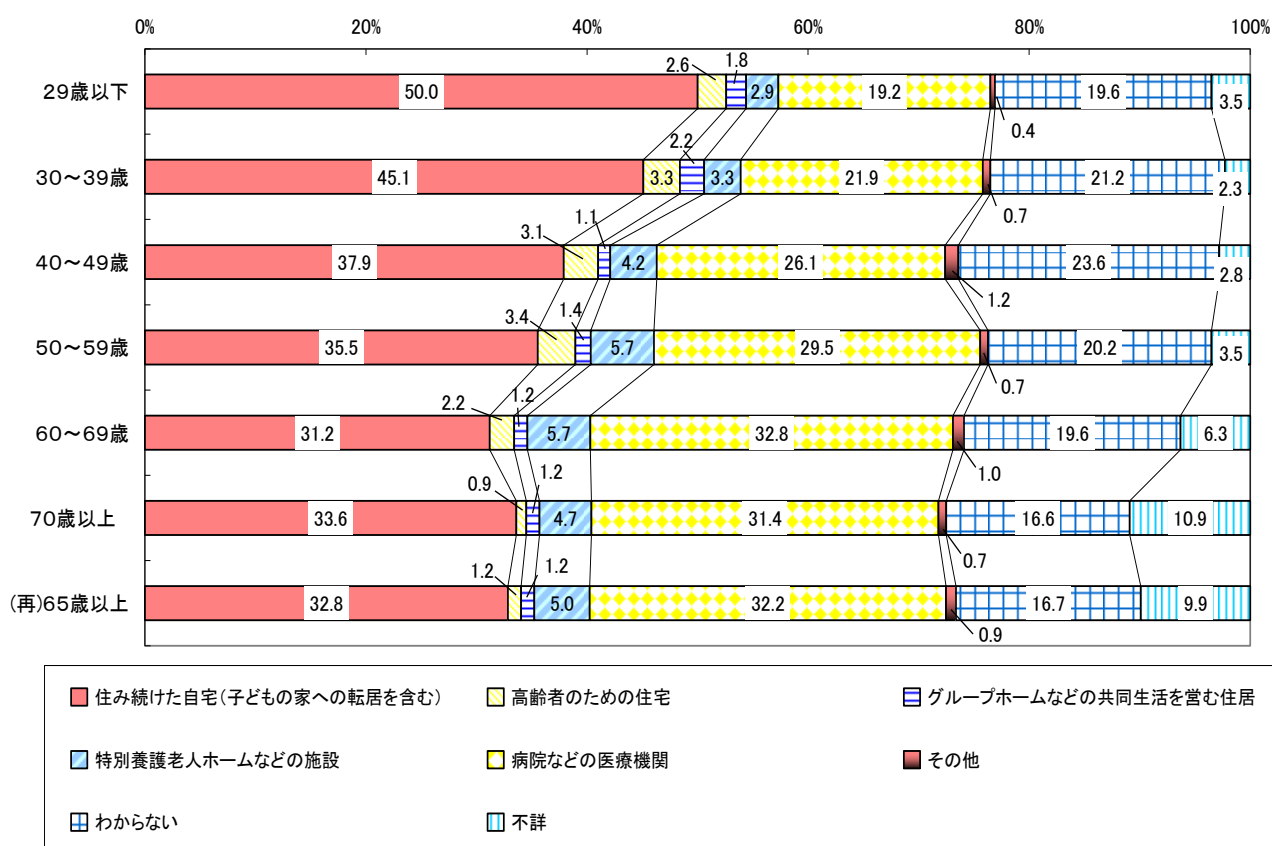


図18 年齢階級別にみた年をとって生活したい場所（人生の最後をむかえるとき）



10 自宅で介護される場合の状況

・家族と外部の者（ホームヘルパーなど）の両方からの介護を受けたい者が約6割

年をとって介護が必要となり、自宅で介護を受ける場合については、「ホームヘルパーなど外部の者の介護を中心とし、あわせて家族による介護を受けたい」とする者が 34.2%、「家族の介護を中心とし、ホームヘルパーなど外部の者も利用したい」が 27.1%となっており、家族と外部の者（ホームヘルパーなど）の両方からの介護を受けたい者が約6割を占めている。

なお、年齢階級別にみると、図20のとおりとなっている。

図19 自宅で介護されとした場合、どのような介護をされたいか

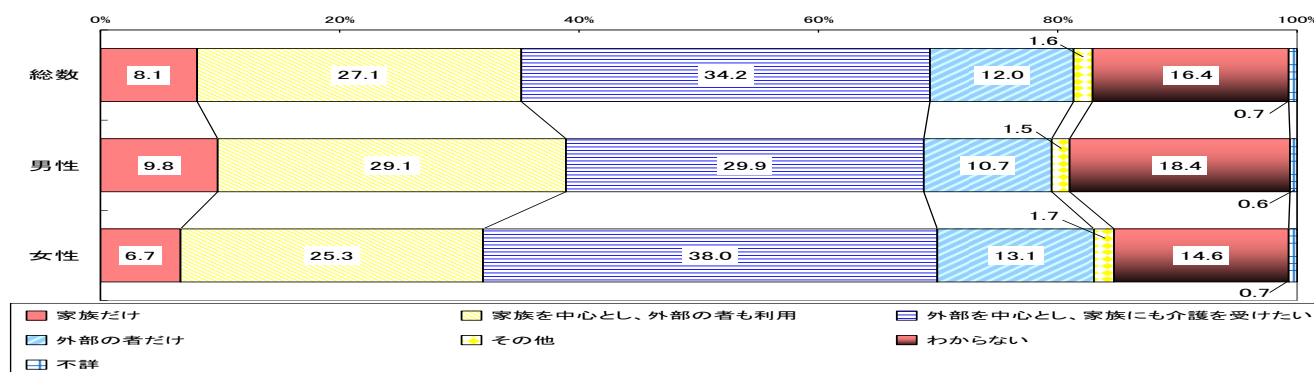
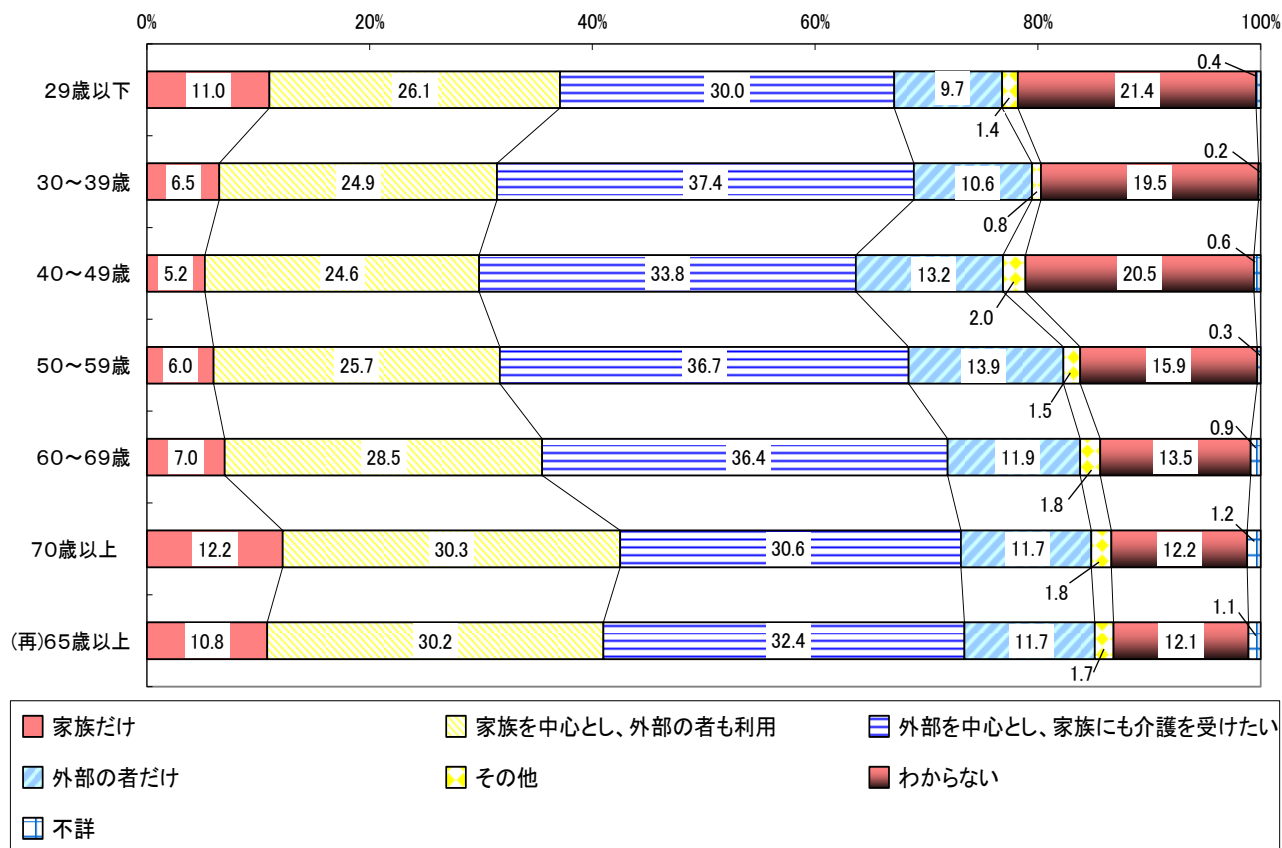


図20 年齢階級別にみた自宅で介護されとした場合、どのような介護をされたいか

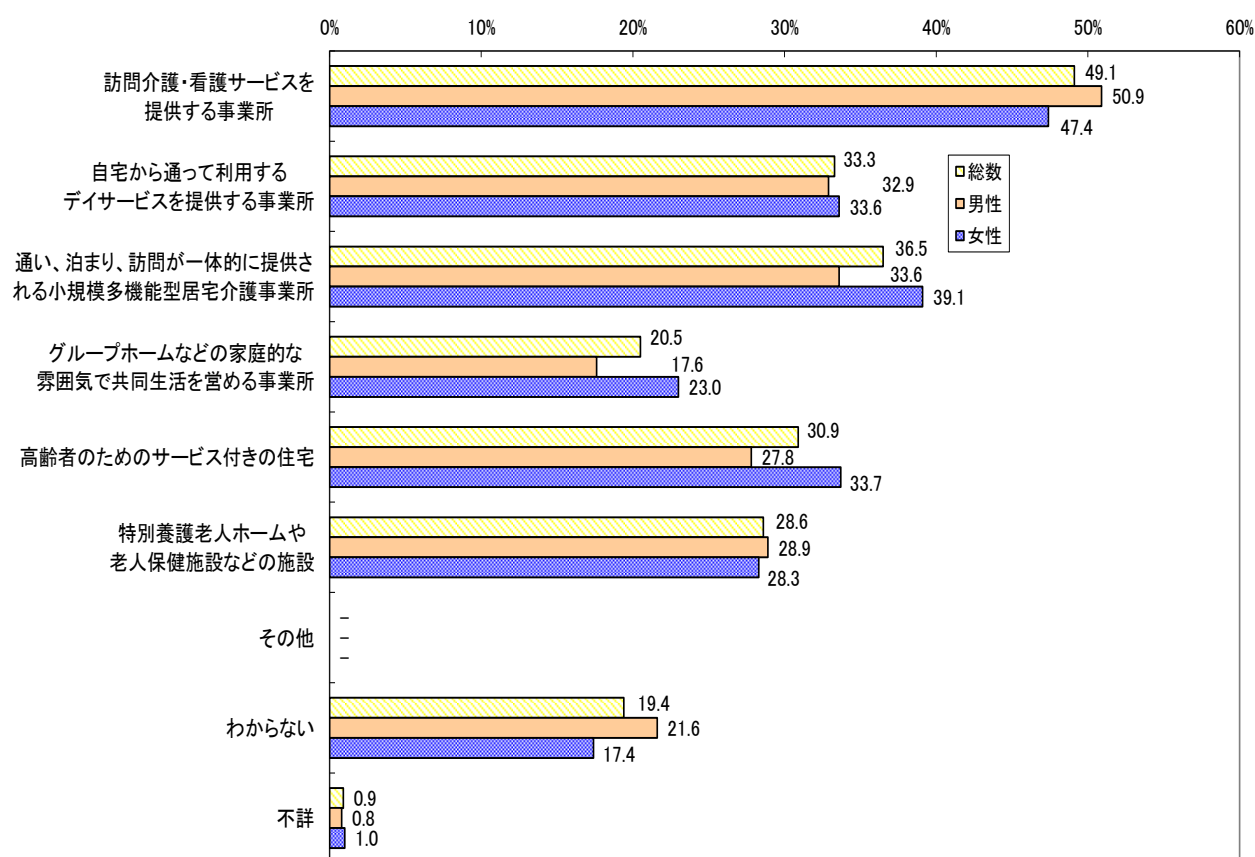


1 1 今後増えて欲しいと思う介護関係の事業所・施設

・訪問介護・看護サービスを提供する事業所とする者が約5割

今後10年間で家の周りに今以上に増えて欲しいと思う介護関係の事業所・施設については、「訪問介護・看護サービスを提供する事業所」が最も多く49.1%、次いで「通い、泊まり、訪問が一体的に提供される小規模多機能型居宅介護事業所」が36.5%、「自宅から通って利用するデイサービスを提供する事業所」が33.3%、「高齢者のためのサービス付きの住宅」が30.9%となっている。

図2 1 今後10年間で家の周りに今以上に増えて欲しいと思う介護関係の事業所・施設（複数回答）



年齢階級別にみると、いずれの年齢階級においても「訪問介護・看護サービスを提供する事業所」が最も多くなっている。

このほか、若い世代では、「通い、泊まり、訪問が一体的に提供される小規模多機能型居宅介護事業所」や「高齢者のためのサービス付きの住宅」が多くなっている。

また、高年齢層では、「自宅から通って利用するデイサービスを提供する事業所」「通い、泊まり、訪問が一体的に提供される小規模多機能型居宅介護事業所」「特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設」が多くなっている。

表5 年齢階級別にみた今後10年間で家の周りに今以上に増えて欲しいと思う
介護関係の事業所・施設（複数回答）

（単位：％）

	総数	訪問介護・看護 サービスを提供 する事業所	自宅から通って 利用するデイ サービスを提供 する事業所	通い、泊まり、訪 問が一体的に提 供される小規模 多機能型居宅 介護事業所	グループホーム などの家庭的な 雰囲気での共同生 活を営める 事業所	高齢者のための サービス付きの 住宅	特別養護老人 ホームや老人保 健施設などの 施設	その他	わからない	不詳
総数	100.0	49.1	33.3	36.5	20.5	30.9	28.6	-	19.4	0.9
29歳以下	100.0	42.6	27.3	33.0	24.5	30.7	20.0	-	26.0	0.3
30～39歳	100.0	46.3	28.7	34.4	22.2	32.5	25.0	-	21.9	0.4
40～49歳	100.0	43.6	31.0	36.0	20.3	34.7	24.9	-	21.0	0.7
50～59歳	100.0	50.4	33.5	40.8	22.5	35.9	29.2	-	15.8	0.4
60～69歳	100.0	51.9	36.1	41.7	20.4	29.3	33.1	-	16.0	1.3
70歳以上	100.0	54.0	37.7	32.4	16.4	25.5	32.9	-	19.1	1.9
（再）65歳以上	100.0	54.0	37.7	34.3	17.7	26.6	33.1	-	18.1	1.7
男性	100.0	50.9	32.9	33.6	17.6	27.8	28.9	-	21.6	0.8
29歳以下	100.0	40.3	24.0	29.6	17.1	28.9	19.3	-	31.1	0.4
30～39歳	100.0	48.1	28.4	29.6	18.6	27.6	26.0	-	24.2	0.4
40～49歳	100.0	47.0	31.4	29.9	16.7	29.4	24.0	-	25.2	0.4
50～59歳	100.0	53.0	33.8	36.0	21.2	29.6	27.5	-	18.9	0.1
60～69歳	100.0	53.5	36.4	40.0	17.7	27.4	33.6	-	18.1	1.1
70歳以上	100.0	57.0	37.4	33.4	15.1	25.3	35.9	-	17.8	1.9
（再）65歳以上	100.0	57.0	37.9	34.4	15.9	26.5	35.2	-	17.6	1.7
女性	100.0	47.4	33.6	39.1	23.0	33.7	28.3	-	17.4	1.0
29歳以下	100.0	44.7	30.2	36.0	31.0	32.3	20.5	-	21.5	0.2
30～39歳	100.0	44.7	29.0	38.7	25.4	36.8	24.1	-	19.8	0.3
40～49歳	100.0	40.2	30.6	42.2	24.0	40.0	25.9	-	16.8	0.9
50～59歳	100.0	48.1	33.2	45.0	23.7	41.4	30.7	-	13.0	0.6
60～69歳	100.0	50.5	35.9	43.2	22.8	31.0	32.6	-	14.2	1.4
70歳以上	100.0	51.7	38.0	31.7	17.4	25.6	30.5	-	20.1	1.9
（再）65歳以上	100.0	51.7	37.5	34.3	19.1	26.7	31.4	-	18.5	1.7

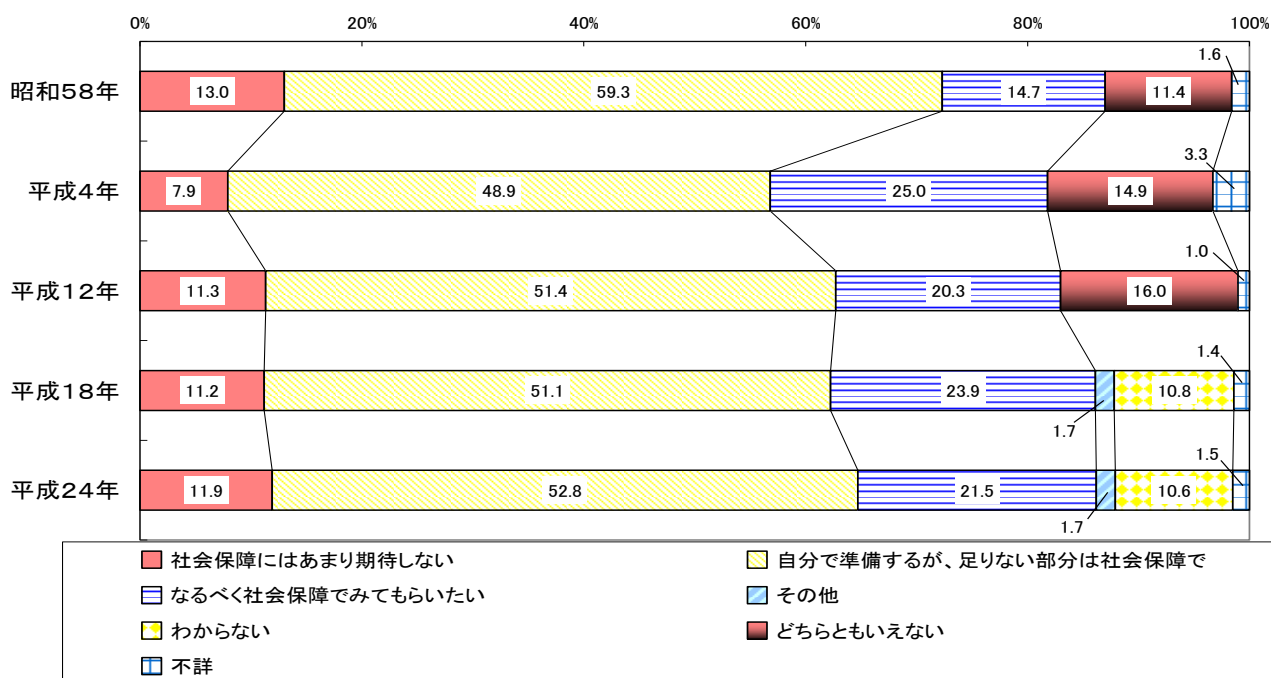
1 2 老後生活と社会保障（年金、医療、福祉など）の関係について

・足りない部分は社会保障でみてもらいたいが過半数

老後生活と社会保障の関係については、「老後の生活の準備はまず自分ですが、全部は出来ないので、足りない部分は社会保障でみてもらいたい」とする者が 52.8%と過半数を占めている。

平成 1 8 年の調査と比較すると、「老後の生活の準備はまず自分ですが、全部は出来ないので、足りない部分は社会保障でみてもらいたい」とする者は 51.1%から 52.8%と若干増加しているのに対し、「将来のことは予測できない面があるので、自分で準備するといっても限界がある。社会保障のための負担が重くなってもよいから、老後の生活はなるべく社会保障でみてもらいたい」とする者が 23.9%から 21.5%と若干減少している。

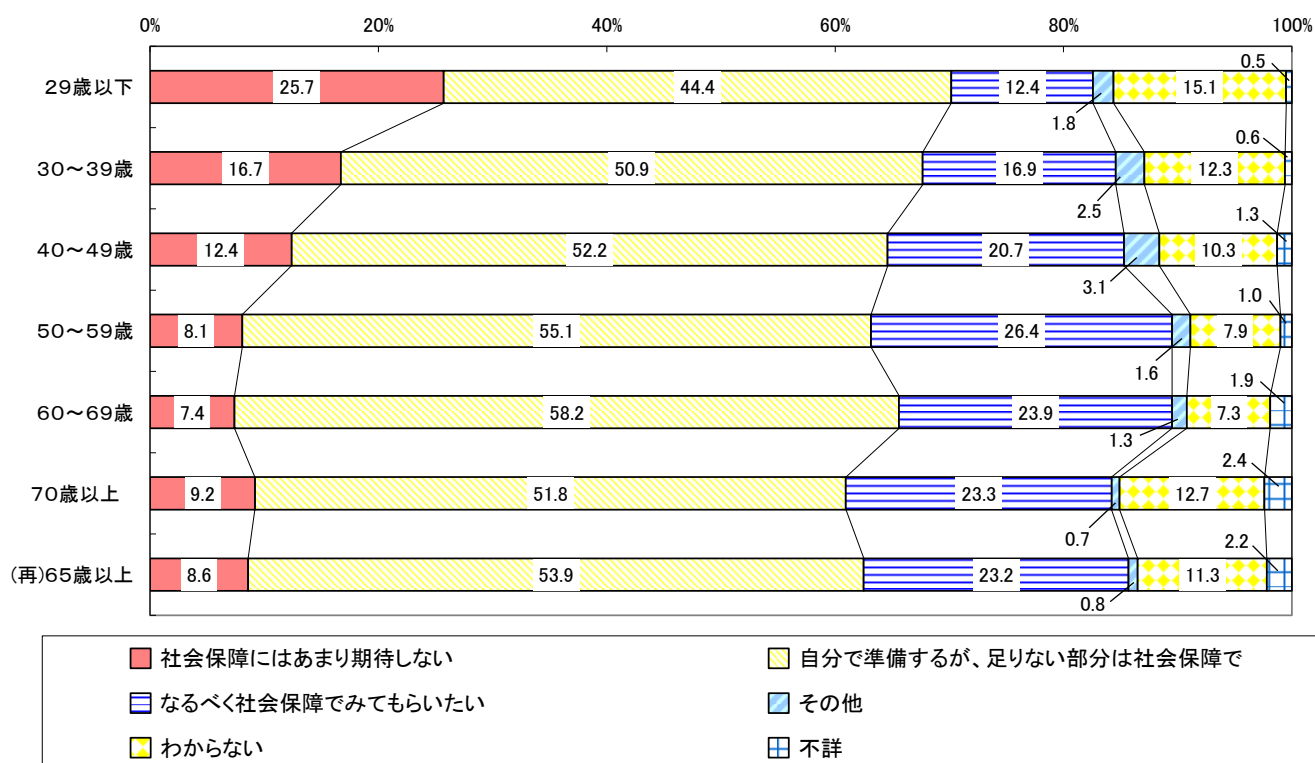
図 2 2 老後生活と社会保障の関係について



(注) 平成 18 年調査において調査項目を一部変更し、「どちらともいえない」を「その他」及び「わからない」に変更した。

年齢階級別にみると、全ての年齢階級で「老後の生活の準備はまず自分ですが、全部はできないので、足りない部分は社会保障でみてもらいたい」が最も多いが、若い世代では「老後の生活は自分が考えるべきで、若いときからその準備をする。社会保障にはあまり期待しない」の割合が多くなっているのに対し、高年齢層では「将来のことは予測できない面があるので、自分で準備するといっても限界がある。社会保障のための負担が重くなってもよいから、老後の生活はなるべく社会保障でみてもらいたい」の割合が多くなっている。

図 2 3 年齢階級別にみた老後生活と社会保障の関係について

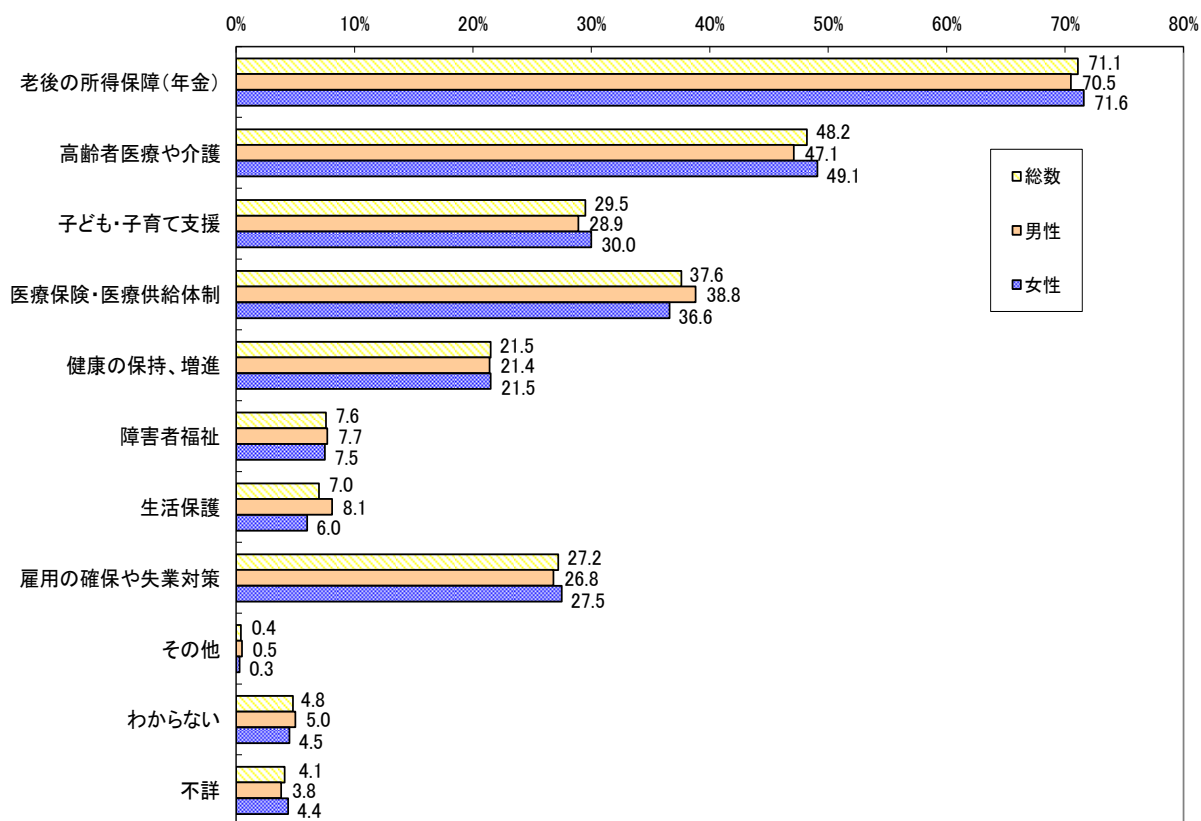


1 3 重要だと考える社会保障の分野について

- ・重要だと考える社会保障は、老後の所得保障（年金）とする者が約7割

重要だと考える社会保障の分野は、「老後の所得保障（年金）」が 71.1%、次いで「高齢者医療や介護」が 48.2%、「医療保険・医療供給体制」が 37.6%、「子ども・子育て支援」が 29.5%、「雇用の確保や失業対策」が 27.2%となっている。

図 2 4 重要と考える社会保障の分野（複数回答）



年齢階級別にみると、「子ども・子育て支援」「雇用の確保や失業対策」は若い世代で多く
 になっているのに対し、「老後の所得保障（年金）」「高齢者医療や介護」「健康の保持、増進」
 は高年齢層で多くなっている。

表 6 年齢階級別にみた重要と考える社会保障の分野（複数回答）

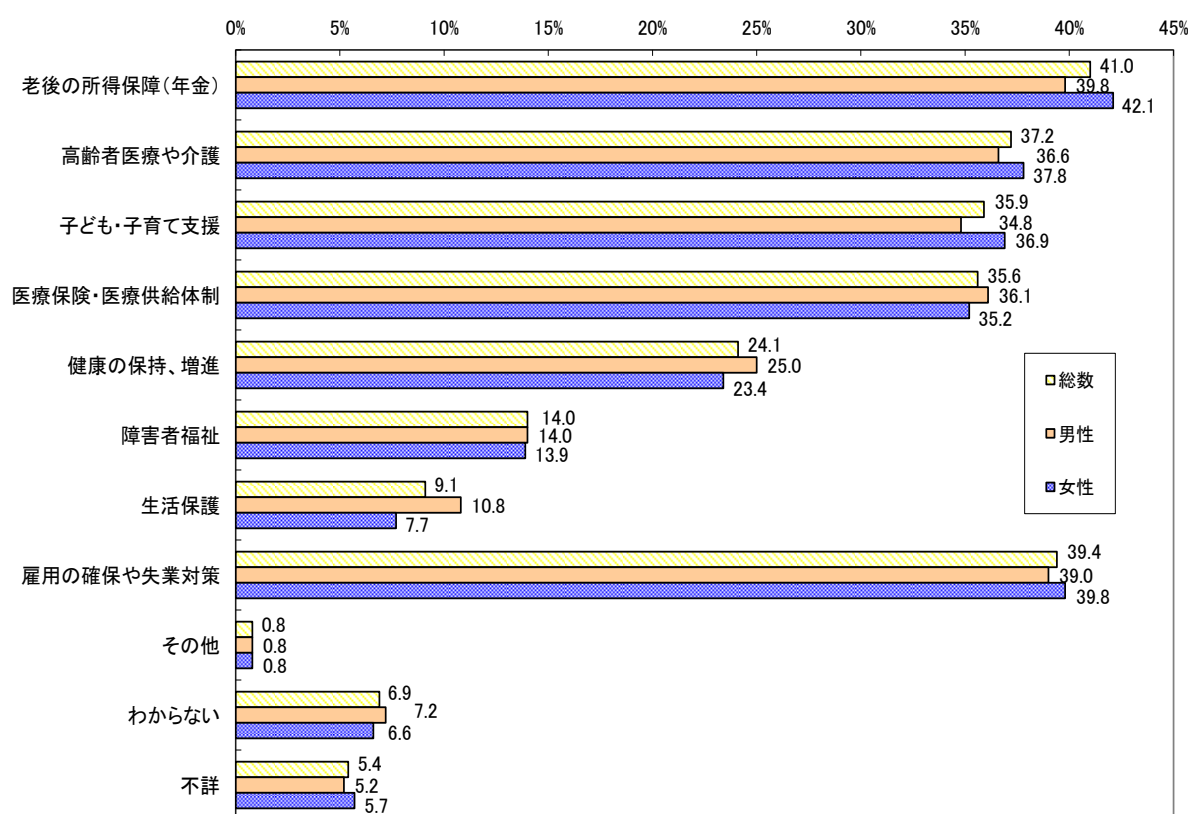
（単位：％）

	総数	老後の所得 保障(年金)	高齢者医療 や介護	子ども・子育 て支援	医療保険・医 療供給体制	健康の 保持、増進	障害者福祉	生活保護	雇用の確保 や失業対策	その他	わからない	不詳
総数	100.0	71.1	48.2	29.5	37.6	21.5	7.6	7.0	27.2	0.4	4.8	4.1
29歳以下	100.0	63.4	33.6	46.3	35.4	18.4	8.2	8.8	37.0	0.3	8.0	2.5
30～39歳	100.0	67.0	40.5	50.7	33.0	17.6	7.2	6.1	34.5	0.7	5.7	2.2
40～49歳	100.0	70.1	43.8	34.2	36.8	19.3	8.1	6.3	37.2	0.6	4.8	2.8
50～59歳	100.0	73.4	47.8	27.3	39.5	24.1	7.1	6.9	33.3	0.5	3.0	3.2
60～69歳	100.0	76.0	54.3	22.5	40.5	23.9	7.6	6.8	22.8	0.4	2.9	4.5
70歳以上	100.0	71.7	57.3	13.2	38.1	22.8	7.6	7.4	11.0	0.2	5.5	7.4
(再)65歳以上	100.0	72.7	57.7	15.4	39.2	23.0	7.7	7.1	13.4	0.2	4.8	6.6
男性	100.0	70.5	47.1	28.9	38.8	21.4	7.7	8.1	26.8	0.5	5.0	3.8
29歳以下	100.0	61.0	30.8	40.9	35.5	19.1	7.3	9.8	37.7	0.4	9.6	3.0
30～39歳	100.0	66.7	38.5	48.7	32.0	17.8	7.1	7.6	34.1	0.9	5.9	2.6
40～49歳	100.0	68.3	41.2	33.7	38.3	19.0	7.6	7.6	35.6	0.8	5.9	2.5
50～59歳	100.0	71.2	46.2	26.6	41.9	24.3	8.4	8.5	30.1	0.2	3.4	3.0
60～69歳	100.0	75.5	54.6	21.8	41.7	23.9	7.6	8.1	22.5	0.7	2.9	4.5
70歳以上	100.0	74.0	59.0	14.4	40.2	22.3	8.1	7.8	11.4	0.2	4.8	6.2
(再)65歳以上	100.0	74.1	59.2	16.4	41.1	23.2	7.9	7.7	13.7	0.2	4.2	5.6
女性	100.0	71.6	49.1	30.0	36.6	21.5	7.5	6.0	27.5	0.3	4.5	4.4
29歳以下	100.0	65.5	36.1	51.1	35.3	17.7	9.0	7.9	36.3	0.2	6.6	2.1
30～39歳	100.0	67.3	42.3	52.5	33.9	17.3	7.4	4.8	34.9	0.6	5.4	1.8
40～49歳	100.0	72.0	46.3	34.6	35.2	19.7	8.5	4.9	38.9	0.3	3.7	3.0
50～59歳	100.0	75.3	49.2	27.8	37.5	24.0	5.9	5.4	36.1	0.7	2.7	3.3
60～69歳	100.0	76.4	54.0	23.2	39.4	23.8	7.6	5.7	23.1	0.1	2.8	4.5
70歳以上	100.0	70.0	55.9	12.4	36.6	23.1	7.2	7.0	10.8	0.2	6.1	8.3
(再)65歳以上	100.0	71.6	56.6	14.7	37.7	22.9	7.6	6.6	13.2	0.2	5.3	7.4

・今後充実させていく必要がある社会保障は、老後の所得保障（年金）や雇用の確保・失業対策などとする者がいずれも４割程度

今後、更に充実させる必要があると考える社会保障の分野は、「老後の所得保障（年金）」が 41.0%、次いで「雇用の確保や失業対策」が 39.4%、「高齢者医療や介護」が 37.2%、「子ども・子育て支援」が 35.9%、「医療保険・医療供給体制」が 35.6%となっており、いずれも４割前後となっている。

図２５ 今後充実させるべきと考える社会保障の分野（複数回答）



年齢階級別にみると、「老後の所得保障（年金）」「子ども・子育て支援」は若い世代で多くなっているのに対し、「健康の保持、増進」は高齢層で多くなっている。

表7 年齢階級別にみた今後充実させるべきと考える社会保障の分野（複数回答）

（単位：％）

	総数	老後の所得保障（年金）	高齢者医療や介護	子ども・子育て支援	医療保険・医療供給体制	健康の保持、増進	障害者福祉	生活保護	雇用の確保や失業対策	その他	わからない	不詳
総数	100.0	41.0	37.2	35.9	35.6	24.1	14.0	9.1	39.4	0.8	6.9	5.4
29歳以下	100.0	42.7	34.2	46.1	32.3	18.7	13.1	10.6	44.0	0.3	9.1	3.1
30～39歳	100.0	47.5	37.3	48.1	33.9	21.3	11.6	7.7	39.7	0.9	7.2	2.8
40～49歳	100.0	45.8	40.1	36.8	36.6	20.3	13.2	7.7	44.0	0.8	6.5	3.6
50～59歳	100.0	45.0	41.4	34.1	36.4	25.2	13.3	9.2	45.7	0.4	4.4	4.2
60～69歳	100.0	38.2	37.0	35.9	37.7	27.1	16.6	9.3	40.0	0.8	5.3	5.7
70歳以上	100.0	32.7	33.9	24.5	35.2	27.6	14.6	10.1	29.2	1.2	9.1	10.0
（再）65歳以上	100.0	33.8	34.8	27.9	36.4	27.6	15.3	9.9	31.8	1.0	8.2	8.8
男性	100.0	39.8	36.6	34.8	36.1	25.0	14.0	10.8	39.0	0.8	7.2	5.2
29歳以下	100.0	40.7	34.3	41.1	32.8	19.7	12.0	11.3	41.7	0.2	10.5	3.6
30～39歳	100.0	46.0	34.0	44.7	33.3	22.9	11.5	9.9	40.2	0.9	7.5	3.2
40～49歳	100.0	42.7	38.3	36.0	35.9	20.1	14.0	9.8	41.5	1.1	7.8	3.5
50～59歳	100.0	42.6	41.5	32.9	36.7	27.3	13.0	11.7	42.7	0.4	5.0	3.9
60～69歳	100.0	37.9	36.5	33.3	39.6	27.5	15.9	10.5	39.7	0.7	5.6	6.2
70歳以上	100.0	32.7	34.6	27.0	35.9	28.8	15.7	11.4	31.5	1.1	7.9	8.5
（再）65歳以上	100.0	33.4	35.2	29.6	38.3	28.8	15.7	10.8	33.7	0.9	7.5	7.7
女性	100.0	42.1	37.8	36.9	35.2	23.4	13.9	7.7	39.8	0.8	6.6	5.7
29歳以下	100.0	44.5	34.2	50.4	31.9	17.7	14.1	10.0	46.1	0.3	7.9	2.6
30～39歳	100.0	48.8	40.1	51.1	34.4	19.8	11.7	5.7	39.3	0.9	6.9	2.5
40～49歳	100.0	49.0	41.8	37.6	37.2	20.6	12.4	5.6	46.6	0.6	5.1	3.6
50～59歳	100.0	47.1	41.3	35.2	36.1	23.4	13.5	7.1	48.4	0.4	3.9	4.5
60～69歳	100.0	38.6	37.5	38.2	36.0	26.7	17.3	8.2	40.3	0.8	4.9	5.4
70歳以上	100.0	32.8	33.4	22.5	34.6	26.7	13.7	9.2	27.4	1.2	10.0	11.1
（再）65歳以上	100.0	34.1	34.4	26.5	34.9	26.7	15.0	9.2	30.3	1.1	8.7	9.7

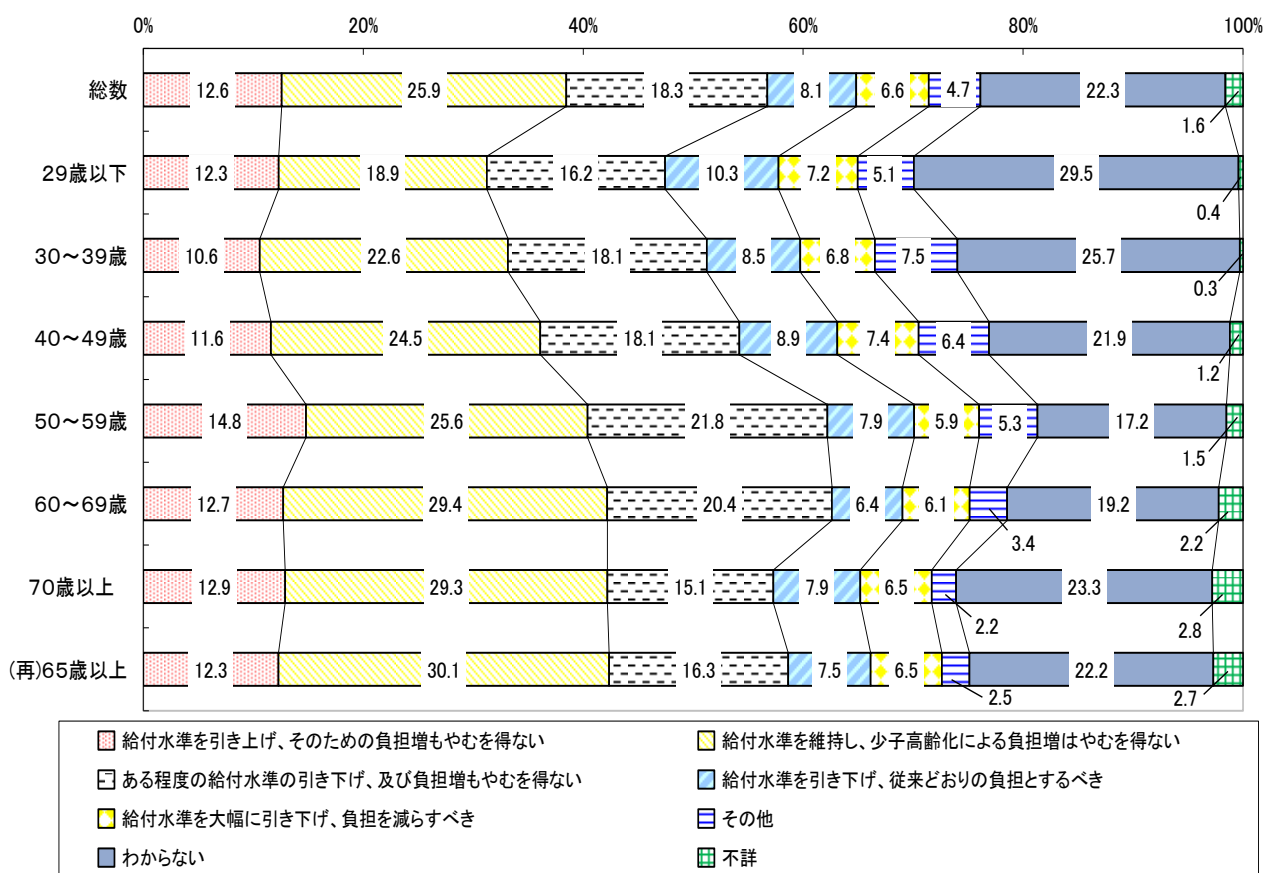
1 4 社会保障の給付と負担の関係について

- ・「社会保障の給付水準を維持し、少子高齢化による負担増はやむを得ない」と考える者が4分の1

社会保障の給付と負担の関係については、「社会保障の給付水準を維持し、少子高齢化による負担増はやむを得ない」とする者が25.9%、次いで「社会保障の給付水準をある程度引き下げつつ、ある程度の負担増もやむを得ない」が18.3%となっている。

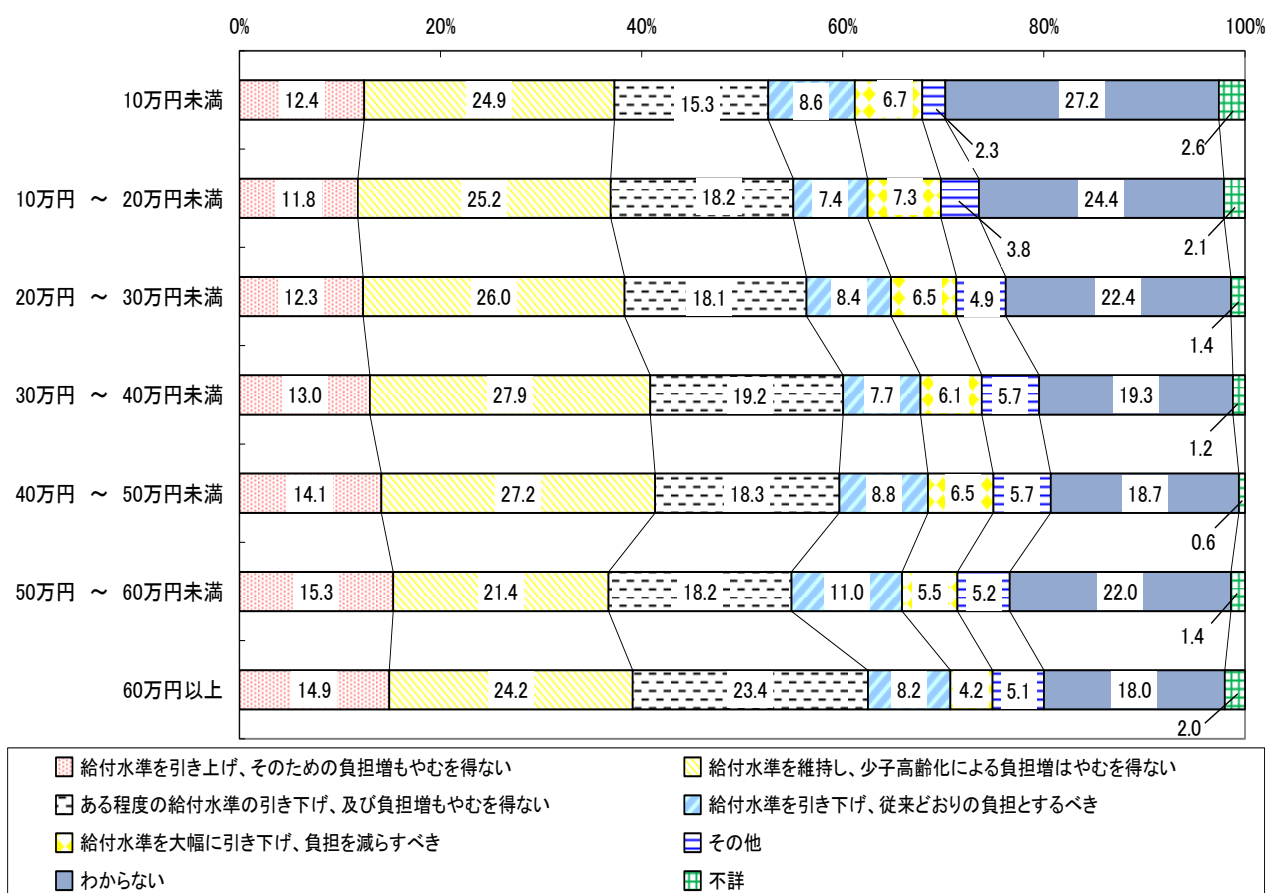
年齢階級別にみると、高年齢層では「社会保障の給付水準を維持し、少子高齢化による負担増はやむを得ない」が3割と多くなっている。

図26 年齢階級別にみた社会保障の給付と負担の関係について



これを、世帯の家計支出額（月額）別にみると、全ての階級で「社会保障の給付水準を維持し、少子高齢化による負担増はやむを得ない」が最も多いが、家計支出額が多くなっていくにつれて「社会保障の給付水準を引き上げ、そのための負担増もやむを得ない」の割合が多くなっている。

図 2 7 世帯の家計支出額（月額）別にみた社会保障の給付と負担の関係について

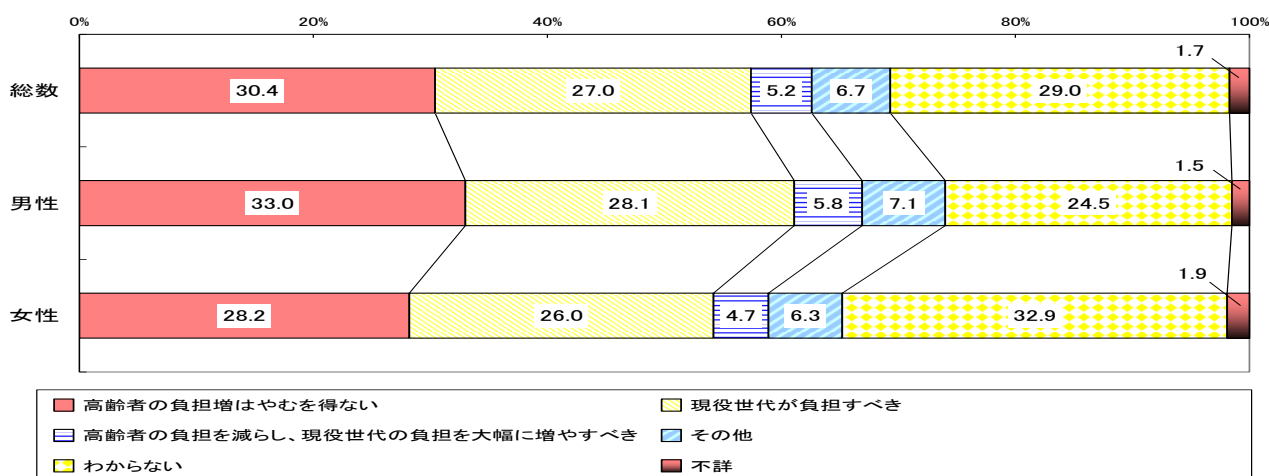


1 5 少子高齢化が進行する状況における高齢者と現役世代の負担水準について

- ・今後見込まれる負担増については、「高齢者の負担増はやむを得ない」「現役世代が負担すべき」とする者がそれぞれ約3割

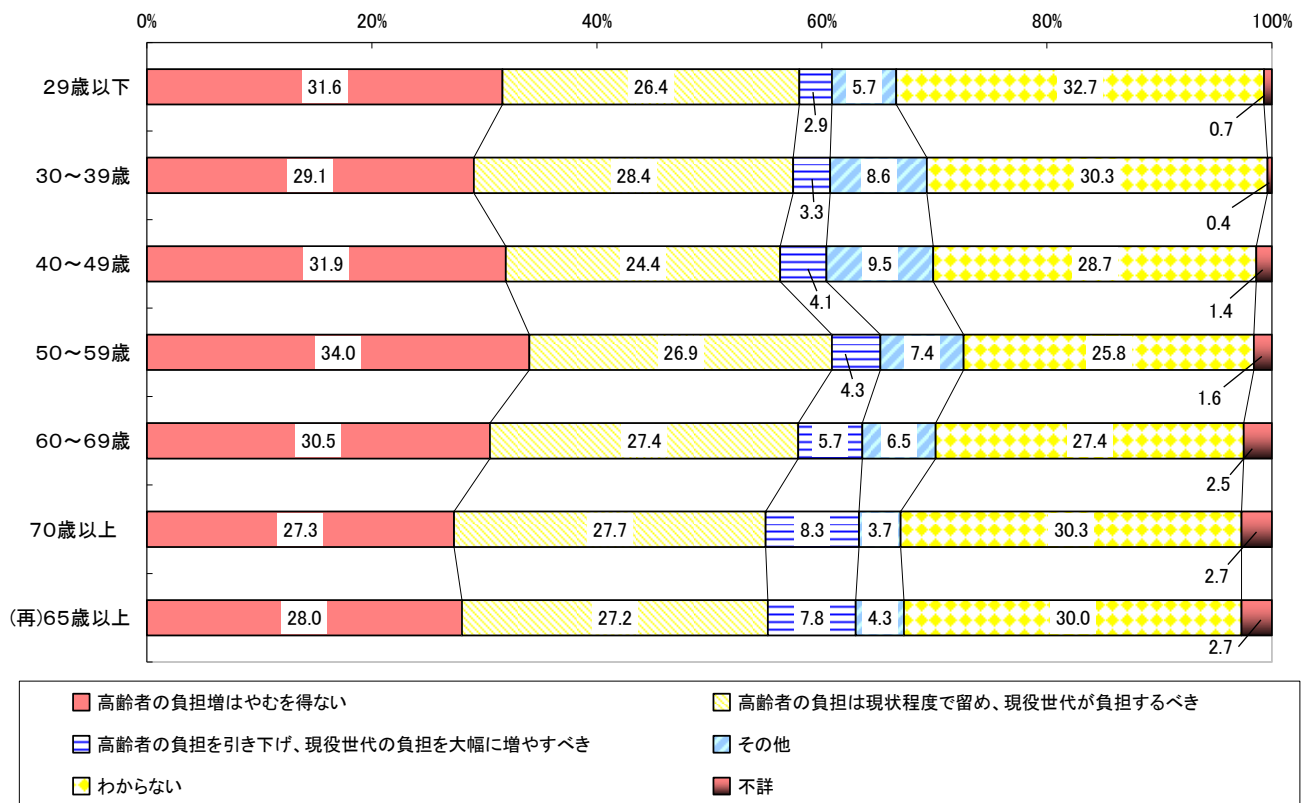
少子高齢化が進行する状況における高齢者と現役世代の負担水準の考え方については、「現役世代の負担の上昇を緩和するために、高齢者の負担が今より重くなることはやむを得ない」とする者が 30.4%、「高齢者の負担は現状程度で留めるべきであり、少子高齢化による負担増は、現役世代が負担するべきである」とする者が 27.0%となっている。

図 2 8 少子高齢化が進行する状況における高齢者と現役世代の負担水準の考え方について



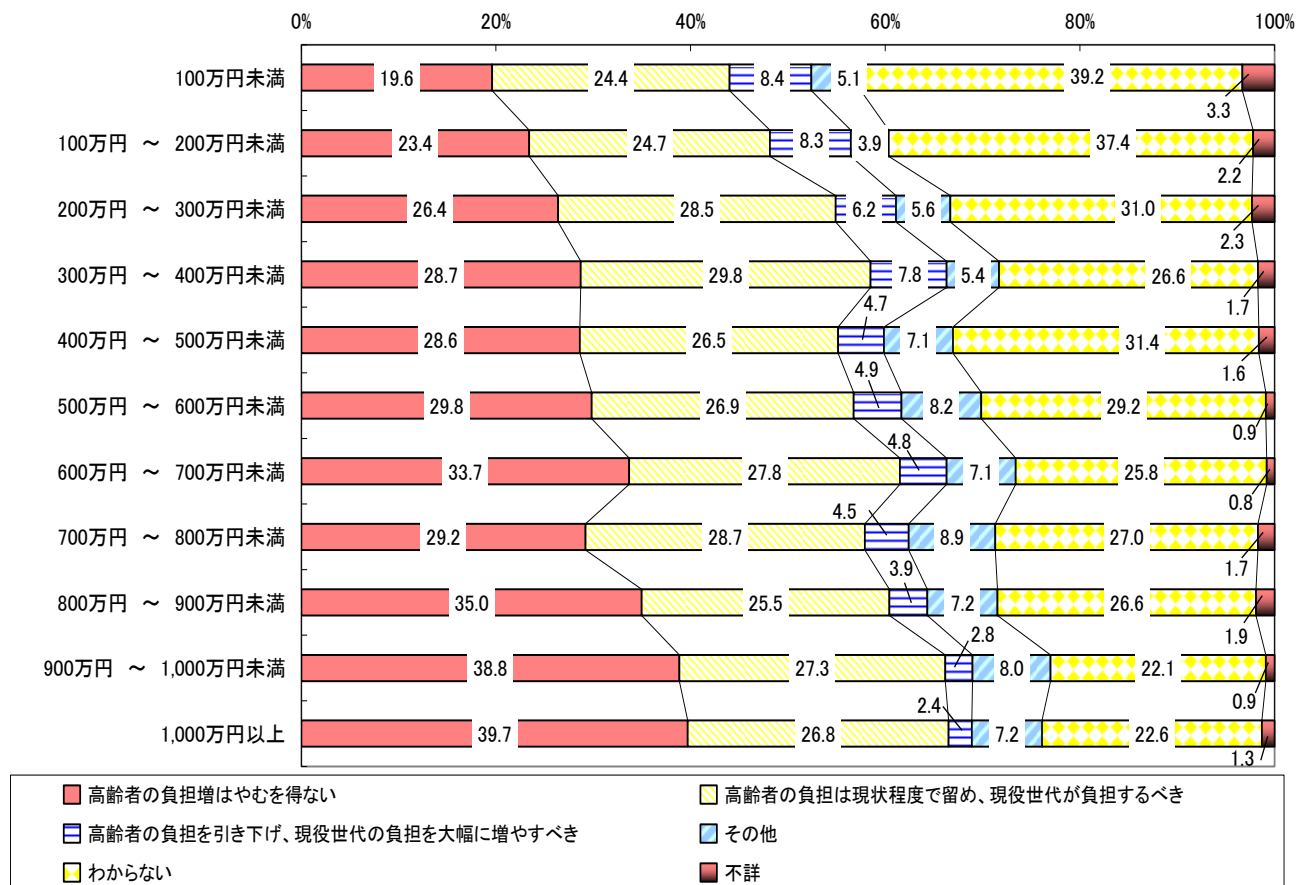
年齢階級別にみると、「現役世代の負担の上昇を緩和するために、高齢者の負担が今より重くなることはやむを得ない」の割合は、50歳代で最も多くなっている。また、「高齢者の負担は現状でも重いので負担を引き下げ、現役世代の負担を大幅に増やすべきである」の割合は、70歳以上が最も多くなっている。

図 2 9 年齢階級別にみた少子高齢化が進行する状況における
高齢者と現役世代の負担水準の考え方について



これを世帯の所得階級別にみると、「現役世代の負担の上昇を緩和するために、高齢者の負担が今より重くなることはやむを得ない」の割合は、所得階級が上がるにつれて多くなっているのに対し、「高齢者の負担は現状でも重いので負担を引き下げ、現役世代の負担を大幅に増やすべきである」の割合は、所得階級が下がるにつれて多くなっている。

図 3 0 世帯の所得階級別にみた少子高齢化が進行する状況における高齢者と現役世代の負担水準の考え方について



統計表

第1表 世帯員数の構成割合、性・年齢階級別にみた「老後の生活」で思い浮かべる生活別（複数回答）

（単位：％）

	総 数	仕事から 引退	家事を 任せる	配偶者と 死別	子どもが 結婚・独立	子どもが 世帯主	年金を 受給	体が 不自由	生涯現役	その他	わからない	不 詳
総数	100.0	38.4	6.0	5.0	14.3	4.9	54.0	34.7	5.9	1.2	5.8	1.5
29歳以下	100.0	47.8	3.6	1.2	22.9	4.0	54.2	22.1	2.5	1.1	8.3	0.7
30～39歳	100.0	49.3	3.1	2.3	20.5	4.5	56.5	22.3	2.7	1.3	6.1	1.9
40～49歳	100.0	44.7	3.1	2.7	18.3	3.6	57.9	27.2	3.6	0.9	5.6	1.4
50～59歳	100.0	42.5	5.4	2.5	13.0	5.1	56.5	33.6	5.3	1.3	4.9	1.6
60～69歳	100.0	33.2	8.7	5.7	11.0	5.4	52.9	44.1	7.8	1.4	4.2	1.1
70歳以上	100.0	24.7	8.9	11.2	7.7	5.9	49.1	45.8	9.7	1.3	6.5	1.7
（再）65歳以上	100.0	26.4	9.2	10.1	8.4	6.0	49.4	45.6	9.6	1.2	5.9	1.7
男性	100.0	46.6	2.0	3.2	11.3	4.5	53.7	32.4	7.4	1.3	6.3	1.1
29歳以下	100.0	52.0	3.4	0.4	18.0	3.0	49.3	22.5	3.9	1.5	9.2	0.6
30～39歳	100.0	56.5	1.6	1.8	15.6	4.3	52.8	20.5	3.5	1.2	7.9	1.4
40～49歳	100.0	52.4	1.0	1.9	14.0	3.0	55.6	26.0	4.8	0.4	6.6	0.9
50～59歳	100.0	49.1	1.2	1.4	9.7	4.7	55.6	30.4	6.9	1.8	5.7	1.3
60～69歳	100.0	42.6	2.0	3.9	7.9	5.2	55.0	40.5	9.3	1.5	4.8	1.0
70歳以上	100.0	34.4	3.0	7.0	7.7	5.6	52.1	44.3	12.2	1.6	5.6	1.3
（再）65歳以上	100.0	35.6	2.9	6.7	7.5	5.9	51.4	44.1	12.1	1.4	5.5	1.3
女性	100.0	31.2	9.5	6.7	16.9	5.3	54.4	36.6	4.6	1.2	5.3	1.8
29歳以下	100.0	44.2	3.8	2.0	27.1	4.9	58.5	21.7	1.3	0.8	7.6	0.8
30～39歳	100.0	43.1	4.4	2.7	24.7	4.6	59.6	23.8	2.0	1.5	4.5	2.4
40～49歳	100.0	36.9	5.3	3.6	22.7	4.3	60.2	28.5	2.4	1.3	4.6	1.9
50～59歳	100.0	36.7	9.1	3.4	15.9	5.4	57.3	36.3	3.9	0.9	4.2	1.9
60～69歳	100.0	24.7	14.7	7.2	13.8	5.6	51.0	47.3	6.4	1.3	3.8	1.3
70歳以上	100.0	17.3	13.4	14.4	7.8	6.0	46.9	46.9	7.8	1.1	7.2	2.1
（再）65歳以上	100.0	19.2	14.1	12.8	9.1	6.1	47.8	46.7	7.6	1.1	6.2	1.9

第2表 世帯員数の構成割合、性・年齢階級別にみた何歳から老後と考えるか別

（単位：％）

	総 数	55歳から	60歳から	65歳から	70歳から	75歳から	80歳以上	その他	わからない	不 詳
総数	100.0	1.7	18.7	28.6	32.0	9.9	4.4	0.8	3.6	0.2
29歳以下	100.0	3.7	34.4	31.2	20.9	2.7	1.3	0.6	5.1	0.1
30～39歳	100.0	3.3	32.9	33.3	21.7	3.2	1.1	0.8	3.6	0.1
40～49歳	100.0	1.9	26.1	34.1	25.8	4.9	2.0	0.6	4.3	0.3
50～59歳	100.0	1.8	16.0	36.1	34.0	6.5	1.9	0.8	2.9	0.1
60～69歳	100.0	0.6	11.6	29.0	40.5	10.8	3.4	1.0	2.8	0.3
70歳以上	100.0	0.8	5.8	15.1	39.0	22.4	12.2	0.7	3.8	0.3
（再）65歳以上	100.0	0.6	6.4	17.7	40.4	20.2	10.0	0.8	3.5	0.3
男性	100.0	1.9	18.5	29.7	31.4	9.6	4.0	0.9	3.8	0.2
29歳以下	100.0	4.3	33.0	30.2	20.3	3.8	2.1	0.8	5.4	0.2
30～39歳	100.0	3.6	32.2	33.6	20.5	3.1	1.3	1.0	4.7	-
40～49歳	100.0	1.9	24.6	36.9	24.9	4.6	2.0	0.7	4.1	0.3
50～59歳	100.0	2.2	16.7	37.4	31.2	6.5	1.1	0.9	3.9	-
60～69歳	100.0	0.6	11.9	30.7	40.6	9.4	2.7	1.0	2.6	0.6
70歳以上	100.0	0.8	4.9	14.5	40.5	23.1	12.0	0.7	3.2	0.3
（再）65歳以上	100.0	0.6	5.9	17.8	41.4	20.6	9.7	0.8	3.0	0.3
女性	100.0	1.6	18.9	27.5	32.6	10.3	4.8	0.7	3.5	0.2
29歳以下	100.0	3.1	35.6	32.0	21.5	1.8	0.7	0.5	4.8	-
30～39歳	100.0	3.1	33.6	33.0	22.7	3.3	0.9	0.7	2.7	0.1
40～49歳	100.0	1.9	27.7	31.3	26.7	5.2	2.0	0.6	4.5	0.2
50～59歳	100.0	1.3	15.4	35.0	36.3	6.4	2.6	0.7	2.0	0.2
60～69歳	100.0	0.7	11.3	27.6	40.5	12.0	3.9	1.0	2.9	0.1
70歳以上	100.0	0.7	6.4	15.4	37.8	21.9	12.4	0.7	4.3	0.3
（再）65歳以上	100.0	0.7	6.8	17.6	39.6	19.9	10.3	0.9	3.9	0.2

第3表 世帯員数の構成割合、性・年齢階級別にみた老後において最も不安に感じるもの別

(単位: %)

	総 数	健康の問題	生活費の問題	住居の問題	家族とのつながりの問題	生きがいの問題	大きな不安はない	その他	わからない	不 詳
総数	100.0	45.7	35.1	0.9	1.7	3.1	4.9	0.9	3.7	4.2
29歳以下	100.0	29.1	46.7	0.4	1.8	4.7	5.1	1.8	7.7	2.8
30～39歳	100.0	25.8	56.0	0.6	1.2	2.9	2.9	1.1	5.0	4.4
40～49歳	100.0	32.2	51.2	0.8	1.7	2.2	3.1	0.6	3.8	4.3
50～59歳	100.0	43.5	39.4	0.8	1.4	3.9	3.9	0.6	2.6	3.9
60～69歳	100.0	59.3	22.4	1.1	1.8	3.6	5.0	0.5	2.3	4.0
70歳以上	100.0	64.5	13.8	1.0	2.0	1.9	7.9	1.0	2.9	4.9
(再) 65歳以上	100.0	64.1	15.0	1.1	2.1	2.3	7.0	0.9	2.8	4.7
男性	100.0	44.3	34.9	0.8	1.7	3.7	5.3	0.9	4.2	4.3
29歳以下	100.0	29.8	42.2	0.6	1.5	5.3	6.0	2.4	8.4	3.8
30～39歳	100.0	27.3	53.6	0.3	1.0	3.1	3.7	1.4	5.6	4.0
40～49歳	100.0	32.6	48.5	0.8	1.5	2.8	3.9	0.7	5.0	4.3
50～59歳	100.0	41.3	38.1	1.2	2.0	5.0	4.1	0.7	3.4	4.1
60～69歳	100.0	56.1	24.6	1.2	1.4	4.9	5.0	0.4	2.6	3.9
70歳以上	100.0	63.2	15.0	0.6	2.3	2.0	8.5	0.6	2.6	5.1
(再) 65歳以上	100.0	62.7	16.4	0.8	2.1	2.9	7.4	0.4	2.6	4.8
女性	100.0	46.9	35.3	0.9	1.7	2.5	4.5	0.9	3.2	4.1
29歳以下	100.0	28.4	50.6	0.3	2.0	4.3	4.3	1.1	7.1	2.0
30～39歳	100.0	24.6	58.0	0.9	1.4	2.7	2.2	0.9	4.5	4.8
40～49歳	100.0	31.8	54.0	0.9	1.9	1.7	2.2	0.6	2.6	4.3
50～59歳	100.0	45.4	40.5	0.5	0.9	3.0	3.6	0.4	1.9	3.7
60～69歳	100.0	62.1	20.5	1.0	2.1	2.5	5.0	0.7	1.9	4.1
70歳以上	100.0	65.6	13.0	1.3	1.8	1.9	7.4	1.3	3.1	4.7
(再) 65歳以上	100.0	65.3	13.9	1.3	2.1	1.9	6.6	1.2	3.0	4.7

第4表 世帯員数の構成割合、性・年齢階級別にみた就労希望年齢別

(単位: %)

	総 数	55歳まで	60歳まで	65歳まで	70歳まで	75歳まで	80歳まで	その他	生涯働き続けたい	わからない	不 詳
総数	100.0	4.7	19.6	27.3	17.6	5.8	2.4	2.9	7.7	11.3	0.8
29歳以下	100.0	8.1	27.9	24.9	8.8	1.7	0.7	2.1	7.4	18.2	0.2
30～39歳	100.0	6.8	26.7	28.4	11.9	1.4	0.7	1.6	8.7	13.8	0.1
40～49歳	100.0	6.1	22.6	30.1	15.2	2.7	0.8	0.9	9.9	11.1	0.6
50～59歳	100.0	3.4	21.2	36.6	17.4	3.1	1.2	2.0	7.0	7.9	0.3
60～69歳	100.0	3.1	14.9	26.8	27.0	8.1	1.2	5.3	5.2	7.3	0.9
70歳以上	100.0	3.1	12.2	19.7	18.6	12.4	7.2	3.8	8.1	12.8	1.9
(再) 65歳以上	100.0	3.0	13.1	20.0	21.2	12.4	5.8	4.2	7.5	11.1	1.7
男性	100.0	2.9	17.3	28.8	21.4	6.9	2.9	2.9	8.6	7.9	0.5
29歳以下	100.0	6.6	27.2	28.1	10.7	2.1	0.8	1.9	9.6	12.9	0.2
30～39歳	100.0	5.3	25.2	31.0	14.7	1.8	0.9	1.0	9.3	10.7	-
40～49歳	100.0	3.3	19.9	32.2	19.4	3.4	1.0	0.8	11.5	8.1	0.4
50～59歳	100.0	2.2	16.7	36.8	21.1	4.1	1.7	1.5	8.2	7.6	0.1
60～69歳	100.0	1.3	12.1	26.3	32.2	9.4	1.4	6.0	6.0	4.8	0.5
70歳以上	100.0	1.0	10.4	21.6	22.5	15.2	9.0	4.3	8.1	6.8	1.1
(再) 65歳以上	100.0	0.8	11.1	20.8	25.6	15.1	7.1	4.8	7.7	6.0	1.0
女性	100.0	6.3	21.6	25.9	14.3	4.9	2.0	2.9	6.8	14.3	1.1
29歳以下	100.0	9.5	28.6	22.0	7.1	1.3	0.7	2.3	5.6	22.8	0.2
30～39歳	100.0	8.0	28.0	26.1	9.4	1.1	0.5	2.0	8.2	16.4	0.2
40～49歳	100.0	8.9	25.4	28.0	10.8	2.0	0.6	1.1	8.3	14.2	0.7
50～59歳	100.0	4.5	25.1	36.3	14.2	2.2	0.7	2.4	5.9	8.2	0.4
60～69歳	100.0	4.8	17.4	27.3	22.4	6.9	1.1	4.8	4.5	9.6	1.3
70歳以上	100.0	4.7	13.6	18.3	15.7	10.3	5.9	3.4	8.1	17.4	2.5
(再) 65歳以上	100.0	4.8	14.8	19.3	17.8	10.2	4.8	3.7	7.3	15.2	2.2

第5表 世帯員数の構成割合、性・年齢階級別にみた希望する老後の働き方別

(単位:%)

	総数	現役世代と同じようにフルタイムで働きたい	働く日数を減らしたり、時間を短くして働きたい	老後は働かずに過ごしたい	その他	わからない	不詳
総数	100.0	5.6	53.2	27.3	2.3	10.8	0.8
29歳以下	100.0	6.6	51.0	27.7	1.1	13.5	0.2
30～39歳	100.0	6.2	57.4	24.6	1.3	10.1	0.4
40～49歳	100.0	6.7	61.3	20.7	1.2	9.5	0.6
50～59歳	100.0	6.4	61.1	23.1	1.5	7.5	0.4
60～69歳	100.0	5.2	57.2	26.6	2.3	7.8	0.8
70歳以上	100.0	3.7	37.4	36.7	4.8	15.8	1.6
(再) 65歳以上	100.0	4.1	42.4	34.2	4.1	13.7	1.4
男性	100.0	8.0	54.6	25.0	2.2	9.7	0.5
29歳以下	100.0	8.8	47.3	28.5	1.7	13.5	0.2
30～39歳	100.0	9.0	53.9	24.5	1.6	10.7	0.3
40～49歳	100.0	10.1	59.3	19.1	1.1	9.7	0.7
50～59歳	100.0	9.1	60.7	20.6	1.4	7.9	0.2
60～69歳	100.0	7.8	61.2	21.7	2.2	6.6	0.5
70歳以上	100.0	4.7	44.1	34.5	4.4	11.3	1.0
(再) 65歳以上	100.0	5.3	49.7	30.5	3.8	9.8	0.9
女性	100.0	3.4	52.0	29.3	2.4	11.8	1.0
29歳以下	100.0	4.6	54.2	26.9	0.7	13.5	0.2
30～39歳	100.0	3.7	60.4	24.7	1.0	9.6	0.5
40～49歳	100.0	3.3	63.3	22.4	1.3	9.2	0.4
50～59歳	100.0	3.9	61.5	25.3	1.6	7.2	0.5
60～69歳	100.0	2.8	53.6	31.1	2.4	8.9	1.2
70歳以上	100.0	3.0	32.2	38.3	5.1	19.3	2.1
(再) 65歳以上	100.0	3.2	36.6	37.1	4.3	16.8	1.8

第6表 世帯員数の構成割合、性・年齢階級別にみた老後の生計を支える手段として最も頼りにするもの別

(単位:%)

	総数	自分の就労による収入	配偶者の就労による収入	国民年金や厚生年金など、公的年金	勤務先の企業年金	貯蓄または退職金の取り崩し	親など親族からの相続	子どもなど親族からの援助や仕送り	家賃や銀行の利子などの資産収入	個人年金	その他	不詳
総数	100.0	16.7	6.3	59.5	1.9	8.0	0.3	1.0	1.0	1.5	1.1	2.5
29歳以下	100.0	27.8	8.1	34.5	2.8	19.4	0.7	0.6	0.4	2.2	1.1	2.5
30～39歳	100.0	23.9	7.9	45.4	2.9	13.3	0.2	0.7	0.8	2.3	0.8	1.8
40～49歳	100.0	23.6	7.5	50.4	2.9	9.9	0.6	0.3	0.9	1.6	0.8	1.4
50～59歳	100.0	17.8	7.9	58.4	2.5	6.7	0.3	0.6	0.9	1.1	1.3	2.4
60～69歳	100.0	11.8	6.4	69.6	1.2	4.3	0.2	1.0	1.0	0.8	1.3	2.4
70歳以上	100.0	6.0	2.7	77.5	0.4	2.6	0.2	2.1	1.7	1.7	1.3	4.0
(再) 65歳以上	100.0	6.9	3.3	77.0	0.4	2.7	0.1	1.9	1.4	1.4	1.3	3.7
男性	100.0	22.8	0.9	58.9	2.6	7.8	0.2	0.6	1.3	1.4	1.2	2.3
29歳以下	100.0	31.3	1.5	36.8	2.8	19.1	0.9	0.8	0.9	1.7	0.9	3.2
30～39歳	100.0	32.2	0.5	44.6	3.4	13.0	0.1	0.9	0.9	1.7	0.9	1.8
40～49歳	100.0	33.9	0.4	47.2	4.3	9.0	0.6	0.1	1.1	1.5	0.8	1.1
50～59歳	100.0	24.9	0.9	58.0	3.4	6.5	-	0.5	0.8	1.2	1.7	2.1
60～69歳	100.0	16.8	1.4	69.2	1.8	4.3	0.1	0.5	1.3	0.6	1.6	2.5
70歳以上	100.0	7.5	0.8	79.3	0.7	2.1	0.1	0.7	2.5	1.8	1.3	3.3
(再) 65歳以上	100.0	8.7	0.9	78.4	0.8	2.3	0.1	0.7	1.9	1.5	1.4	3.3
女性	100.0	11.3	11.0	60.1	1.3	8.2	0.4	1.4	0.8	1.7	1.1	2.7
29歳以下	100.0	24.6	13.8	32.5	2.8	19.7	0.5	0.5	-	2.6	1.1	1.8
30～39歳	100.0	16.7	14.4	46.0	2.5	13.6	0.3	0.5	0.7	2.8	0.8	1.7
40～49歳	100.0	13.0	14.6	53.8	1.5	10.8	0.7	0.6	0.8	1.6	0.9	1.8
50～59歳	100.0	11.6	14.0	58.7	1.8	6.9	0.6	0.7	1.0	1.0	1.0	2.6
60～69歳	100.0	7.2	10.8	70.1	0.7	4.3	0.3	1.4	0.7	1.1	1.1	2.3
70歳以上	100.0	4.8	4.1	76.2	0.1	2.9	0.2	3.1	1.1	1.6	1.3	4.5
(再) 65歳以上	100.0	5.5	5.1	75.9	0.1	3.0	0.2	2.8	1.0	1.3	1.1	3.9

第7表 世帯員数の構成割合、性・世帯の生活意識の状況別にみた老後の生計を支える手段として最も頼りにするもの別

(単位:%)

	総数	自分の就労 による収入	配偶者の就労 による収入	国民年金や厚生 年金など、 公的年金	勤務先の 企業年金	貯蓄または 退職金の 取り崩し	親など親族 からの相続	子どもなど 親族からの 援助や仕送り	家賃や銀行の 利子などの 資産収入	個人年金	その他	不詳
総数	100.0	16.7	6.3	59.5	1.9	8.0	0.3	1.0	1.0	1.5	1.1	2.5
大変苦しい	100.0	21.8	6.5	56.6	1.2	5.2	0.3	1.6	0.5	1.6	2.0	2.7
やや苦しい	100.0	16.0	6.2	62.5	2.1	7.1	0.3	0.7	0.5	1.5	0.8	2.4
普通	100.0	14.1	6.1	61.7	2.3	9.7	0.3	0.6	1.4	1.5	0.5	1.8
ゆとりがある	100.0	11.2	7.7	49.9	3.7	18.5	0.4	0.9	5.7	0.7	0.4	0.9
不詳	100.0	14.8	6.3	51.2	0.8	8.9	0.7	2.1	1.0	2.4	3.7	8.0
男性	100.0	22.8	0.9	58.9	2.6	7.8	0.2	0.6	1.3	1.4	1.2	2.3
大変苦しい	100.0	28.1	1.8	55.9	1.8	4.6	0.4	1.0	0.7	1.2	2.3	2.5
やや苦しい	100.0	22.4	0.5	61.7	2.8	7.5	0.2	0.3	0.4	1.4	0.5	2.4
普通	100.0	19.5	0.8	61.6	2.9	9.3	0.1	0.2	1.9	1.5	0.5	1.6
ゆとりがある	100.0	17.0	0.5	50.0	5.7	17.5	0.5	0.0	7.5	0.5	0.5	0.5
不詳	100.0	23.0	0.0	47.0	1.1	8.5	0.7	2.2	1.9	1.9	5.9	7.8
女性	100.0	11.3	11.0	60.1	1.3	8.2	0.4	1.4	0.8	1.7	1.1	2.7
大変苦しい	100.0	16.2	10.6	57.2	0.7	5.8	0.2	2.1	0.4	2.0	1.7	2.9
やや苦しい	100.0	10.4	11.3	63.1	1.4	6.7	0.4	1.0	0.5	1.5	1.0	2.5
普通	100.0	9.4	10.7	61.7	1.7	10.0	0.5	0.9	1.0	1.5	0.5	2.0
ゆとりがある	100.0	6.2	14.0	49.8	2.1	19.3	0.4	1.6	4.1	0.8	0.4	1.2
不詳	100.0	8.4	11.3	54.5	0.6	9.3	0.6	2.0	0.3	2.9	2.0	8.1

(注)客体数が少ないため、「ややゆとりがある」と「大変ゆとりがある」を合算し、「ゆとりがある」として集計している。

第8表 世帯員数の構成割合、性・年齢階級別にみた老後の生計を支える手段として2番目に頼りにするもの別

(単位:%)

	総数	自分の就労 による収入	配偶者の就労 による収入	国民年金や厚生 年金など、 公的年金	勤務先の 企業年金	貯蓄または 退職金の 取り崩し	親など親族 からの相続	子どもなど 親族からの 援助や仕送り	家賃や銀行の 利子などの 資産収入	個人年金	その他	不詳
総数	100.0	12.4	5.2	19.1	5.2	30.4	1.5	4.9	1.9	5.9	2.7	10.9
29歳以下	100.0	15.1	8.4	25.8	5.5	26.5	2.1	3.5	1.4	4.9	1.8	4.9
30～39歳	100.0	16.2	5.3	25.5	5.2	27.4	2.7	2.6	1.0	6.0	3.1	4.9
40～49歳	100.0	16.3	5.9	24.5	5.7	27.3	1.6	2.5	1.3	7.3	1.9	5.9
50～59歳	100.0	13.2	6.4	21.0	5.0	31.4	1.5	3.4	2.3	6.3	2.6	6.9
60～69歳	100.0	11.0	4.4	17.2	6.6	32.3	1.1	4.5	1.9	5.9	2.3	12.9
70歳以上	100.0	6.7	3.3	8.8	3.5	33.6	0.9	10.0	2.8	4.9	4.0	21.6
(再) 65歳以上	100.0	7.5	3.5	9.7	4.5	33.7	1.0	8.8	2.8	5.2	3.6	19.6
男性	100.0	14.7	3.2	19.2	7.4	29.1	1.5	4.3	2.1	5.4	2.9	10.1
29歳以下	100.0	19.5	5.1	22.1	8.4	24.6	1.9	3.8	1.1	5.8	1.9	5.8
30～39歳	100.0	17.4	2.3	25.2	6.6	26.9	2.7	2.3	1.2	5.4	4.1	5.8
40～49歳	100.0	17.6	3.3	25.3	7.1	26.9	1.5	2.5	1.8	6.7	1.3	6.0
50～59歳	100.0	15.6	3.2	20.9	7.7	29.3	1.4	3.7	3.1	5.8	3.2	6.0
60～69歳	100.0	13.7	2.5	18.0	9.3	29.9	1.3	3.9	2.2	4.8	2.5	11.8
70歳以上	100.0	8.5	3.5	8.6	5.7	33.6	0.6	8.3	2.7	4.6	4.1	19.7
(再) 65歳以上	100.0	9.8	3.1	9.6	6.9	33.7	0.8	7.2	2.9	4.5	3.7	17.9
女性	100.0	10.3	7.0	19.0	3.2	31.4	1.6	5.4	1.7	6.2	2.6	11.5
29歳以下	100.0	11.3	11.3	29.1	3.0	28.2	2.3	3.3	1.6	4.1	1.6	4.1
30～39歳	100.0	15.1	7.9	25.7	4.0	27.9	2.7	2.8	0.9	6.6	2.3	4.1
40～49歳	100.0	15.0	8.4	23.7	4.3	27.8	1.6	2.4	0.8	7.9	2.5	5.7
50～59歳	100.0	11.1	9.2	21.1	2.6	33.1	1.7	3.2	1.6	6.6	2.1	7.7
60～69歳	100.0	8.5	6.1	16.4	4.3	34.4	0.8	5.0	1.5	7.0	2.1	13.9
70歳以上	100.0	5.2	3.1	9.0	1.8	33.6	1.1	11.4	2.9	5.1	3.9	22.9
(再) 65歳以上	100.0	5.7	3.7	9.8	2.6	33.8	1.2	10.1	2.7	5.8	3.6	21.0

第9表 老後の生計を支える手段として1番目に頼りにするものと2番目に頼りにするものの組合せ

(単位:%)

		1番目に頼りにしているもの											
		総数	自分の就労による収入	配偶者の就労による収入	国民年金や厚生年金など、公的年金	勤務先の企業年金	貯蓄または退職金の取り崩し	親など親族からの相続	子どもなど親族からの援助や仕送り	家賃や銀行の利子などの資産収入	個人年金	その他	不詳
2番目に頼りにしているもの	総数	100.0	16.7	6.3	59.5	1.9	8.0	0.3	1.0	1.0	1.5	1.1	2.5
	自分の就労による収入	12.4	-	0.9	9.5	0.3	1.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.0	-
	配偶者の就労による収入	5.2	1.5	-	3.2	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	-
	国民年金や厚生年金など、公的年金	19.1	8.8	3.3	-	0.5	4.7	0.1	0.5	0.5	0.6	0.2	0.0
	勤務先の企業年金	5.2	0.6	0.1	4.0	-	0.4	0.0	-	0.0	0.0	-	-
	貯蓄または退職金の取り崩し	30.4	2.6	1.1	25.3	0.7	-	0.0	0.1	0.1	0.3	0.0	0.0
	親など親族からの相続	1.5	0.3	0.2	0.8	0.0	0.2	-	0.0	0.0	0.0	0.0	-
	子どもなど親族からの援助や仕送り	4.9	0.5	0.2	3.8	0.0	0.2	0.0	-	-	0.1	0.0	0.0
	家賃や銀行の利子などの資産収入	1.9	0.3	0.1	1.1	0.0	0.2	0.0	0.0	-	0.1	-	-
	個人年金	5.9	0.8	0.2	3.6	0.2	0.7	0.0	0.1	0.2	-	0.0	0.0
	その他	2.7	0.4	0.1	1.5	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.5	-
	不詳	10.9	0.9	0.2	6.5	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0	0.1	0.3	2.5

第10表 世帯員数の構成割合、性・年齢階級別にみた老後の生きがい別（複数回答）

(単位:%)

	総数	働くこと	学ぶこと	家族との 団らん	子どもや 孫の成長	友人や地域 の人との 交流	地域活動へ の参加	社会奉仕活 動への参加	スポーツを すること	教養・趣味 を高める こと	その他	わからない	不詳
総数	100.0	19.1	13.7	35.7	43.0	33.2	8.0	10.8	12.3	46.5	3.0	10.9	1.1
29歳以下	100.0	12.4	10.1	44.0	46.8	29.1	7.6	6.7	14.5	52.0	1.8	11.6	0.6
30～39歳	100.0	11.6	11.2	41.6	49.7	26.1	7.1	8.4	10.4	51.3	2.2	12.3	0.8
40～49歳	100.0	19.0	14.2	35.1	42.9	29.5	6.4	10.9	11.5	53.9	1.1	10.7	1.0
50～59歳	100.0	21.2	17.0	34.0	40.3	32.1	4.8	15.1	12.7	53.4	2.2	8.6	0.8
60～69歳	100.0	23.2	15.8	31.2	41.8	36.9	6.8	14.0	15.3	44.5	3.7	9.3	1.4
70歳以上	100.0	22.0	12.7	33.9	40.0	39.2	13.0	8.4	10.2	32.8	5.1	12.7	1.6
(再) 65歳以上	100.0	22.6	13.5	32.7	40.9	39.0	11.7	9.5	11.9	35.6	4.8	11.8	1.5
男性	100.0	22.4	13.9	34.6	38.5	26.5	7.9	11.5	16.5	46.1	2.9	12.3	1.0
29歳以下	100.0	15.6	9.2	38.8	40.0	23.3	7.7	6.6	20.5	47.8	2.6	13.1	0.8
30～39歳	100.0	13.0	12.3	40.7	42.9	20.9	6.5	7.8	14.6	50.9	2.2	14.6	0.4
40～49歳	100.0	21.3	14.8	34.9	38.5	21.8	6.3	10.5	15.8	53.7	0.8	12.0	0.9
50～59歳	100.0	26.9	17.4	33.4	34.7	24.6	4.6	16.2	16.6	51.1	2.8	10.3	0.5
60～69歳	100.0	27.4	15.1	29.8	38.3	31.4	7.2	14.2	17.6	42.5	3.4	11.5	1.9
70歳以上	100.0	24.7	12.8	33.8	38.0	32.3	13.5	10.9	15.6	35.7	4.8	12.7	1.4
(再) 65歳以上	100.0	26.0	13.3	32.2	38.5	32.3	12.3	11.6	16.8	36.8	4.3	12.6	1.6
女性	100.0	16.3	13.6	36.6	46.9	39.0	8.1	10.2	8.6	46.8	3.0	9.6	1.2
29歳以下	100.0	9.7	10.8	48.4	52.7	34.2	7.6	6.7	9.4	55.7	1.0	10.3	0.5
30～39歳	100.0	10.3	10.2	42.4	55.7	30.7	7.7	9.0	6.8	51.7	2.3	10.3	1.2
40～49歳	100.0	16.5	13.5	35.3	47.5	37.5	6.4	11.2	7.2	54.1	1.5	9.3	1.1
50～59歳	100.0	16.3	16.6	34.5	45.3	38.7	5.0	14.1	9.3	55.3	1.6	7.1	1.0
60～69歳	100.0	19.4	16.3	32.5	45.0	41.9	6.5	13.8	13.2	46.3	4.0	7.3	1.0
70歳以上	100.0	20.0	12.6	33.9	41.5	44.5	12.7	6.5	6.1	30.7	5.3	12.7	1.8
(再) 65歳以上	100.0	19.9	13.6	33.2	42.7	44.2	11.2	7.8	8.1	34.8	5.1	11.3	1.5

第11表 世帯員数の構成割合、性・年齢階級別にみた老後生活における子どもとの同・別居別

(単位: %)

	総数	同居したい	元気なうちは別居し、病気になるったら同居したい	配偶者がいなくなったら同居したい	子どもが近くにいれば別居でもよい	別居したい	その他	わからない
総数	100.0	15.7	6.7	4.7	38.3	11.0	5.3	18.3
29歳以下	100.0	12.8	6.9	4.8	37.9	12.0	1.2	24.3
30～39歳	100.0	10.2	6.2	3.9	42.6	12.6	2.1	22.4
40～49歳	100.0	8.6	5.4	2.4	39.6	13.2	7.0	23.8
50～59歳	100.0	13.4	5.6	5.0	38.3	13.7	7.7	16.4
60～69歳	100.0	14.6	6.5	5.6	41.3	10.1	7.0	14.9
70歳以上	100.0	27.6	8.6	5.9	32.2	7.2	5.0	13.5
(再) 65歳以上	100.0	24.6	8.1	5.7	34.6	7.8	5.5	13.7
男性	100.0	15.8	7.4	4.6	33.8	11.2	4.9	22.2
29歳以下	100.0	14.5	7.5	3.8	31.3	12.6	1.7	28.6
30～39歳	100.0	11.9	6.6	3.1	37.8	11.9	1.4	27.2
40～49歳	100.0	10.1	6.9	2.6	32.7	12.9	5.9	28.8
50～59歳	100.0	16.8	6.2	4.2	31.2	12.2	7.7	21.8
60～69歳	100.0	14.5	7.3	5.2	36.2	11.0	6.9	19.0
70歳以上	100.0	24.2	9.2	7.6	33.0	8.2	4.1	13.8
(再) 65歳以上	100.0	22.0	8.7	6.8	33.7	8.8	4.6	15.3
女性	100.0	15.5	6.1	4.8	42.1	10.9	5.7	14.9
29歳以下	100.0	11.4	6.4	5.8	43.7	11.4	0.8	20.5
30～39歳	100.0	8.6	5.9	4.5	46.8	13.2	2.7	18.3
40～49歳	100.0	7.0	4.0	2.3	46.7	13.5	8.0	18.6
50～59歳	100.0	10.5	5.0	5.7	44.6	14.9	7.7	11.6
60～69歳	100.0	14.8	5.7	6.0	45.8	9.3	7.1	11.3
70歳以上	100.0	30.2	8.2	4.6	31.5	6.5	5.7	13.3
(再) 65歳以上	100.0	26.6	7.6	4.8	35.4	7.0	6.1	12.5

(注) 老後生活における子どもとの同・別居が不詳の客体を除いて集計している。

第12表 世帯員数の構成割合、性・年齢階級別にみた年をとって生活したい場所（配偶者がいなくなり一人となった場合）別

(単位: %)

	総数	自宅(これまで住み続けた自宅、子どもの家への転居を含む)	新しい状況に合わせて移り住んだ、高齢者のための住宅	グループホームのような高齢者などが共同生活を営む住居	特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設	病院などの医療機関	その他	わからない	不詳
総数	100.0	68.3	7.1	5.4	3.8	1.2	0.7	8.4	5.0
29歳以下	100.0	69.1	7.4	6.0	2.5	0.5	0.4	11.0	3.1
30～39歳	100.0	70.5	8.3	5.9	1.9	0.2	0.5	10.1	2.4
40～49歳	100.0	70.7	7.9	4.8	2.6	0.4	1.1	10.0	2.5
50～59歳	100.0	72.0	7.2	4.5	2.8	1.1	1.0	7.6	3.8
60～69歳	100.0	69.8	6.7	5.2	4.2	0.8	0.7	7.0	5.6
70歳以上	100.0	61.3	6.1	6.2	6.7	3.0	0.5	6.8	9.4
(再) 65歳以上	100.0	63.5	6.1	6.0	6.1	2.4	0.6	6.5	8.7
男性	100.0	65.9	7.4	5.8	4.5	1.4	0.7	9.6	4.6
29歳以下	100.0	66.6	6.8	6.9	2.4	0.6	0.6	12.0	4.1
30～39歳	100.0	67.4	7.8	5.7	2.5	0.4	0.5	12.8	3.0
40～49歳	100.0	69.0	7.4	5.1	3.0	0.3	1.0	11.5	2.8
50～59歳	100.0	68.8	8.0	4.4	3.7	1.2	1.2	9.0	3.8
60～69歳	100.0	67.2	6.1	6.0	5.4	1.0	0.7	8.4	5.2
70歳以上	100.0	58.7	8.4	6.6	7.9	4.1	0.4	6.3	7.6
(再) 65歳以上	100.0	60.9	7.7	6.4	7.4	3.2	0.6	6.4	7.5
女性	100.0	70.5	6.9	5.1	3.2	1.0	0.7	7.3	5.3
29歳以下	100.0	71.3	7.9	5.1	2.6	0.5	0.3	10.2	2.1
30～39歳	100.0	73.2	8.8	6.1	1.5	—	0.6	7.8	1.9
40～49歳	100.0	72.4	8.4	4.6	2.2	0.6	1.1	8.4	2.1
50～59歳	100.0	74.8	6.4	4.6	2.1	1.0	0.8	6.4	3.8
60～69歳	100.0	72.1	7.3	4.4	3.1	0.7	0.8	5.8	5.9
70歳以上	100.0	63.4	4.3	5.8	5.8	2.1	0.6	7.1	10.8
(再) 65歳以上	100.0	65.6	4.8	5.8	5.1	1.8	0.6	6.7	9.6

第13表 世帯員数の構成割合、性・年齢階級別にみた年をとって生活したい場所（介護を必要とする場合）別

(単位: %)

	総数	自宅(これまで 住み続けた 自宅、子どもの 家への転居を 含む)	新しい状況に 合わせて移り住 んだ、高齢者 のための住宅	グループホーム のような高齢者 などが共同生活 を営む住居	特別養護老人 ホームや老人保 健施設などの 施設	病院などの 医療機関	その他	わからない	不詳
総数	100.0	18.7	14.1	10.4	29.8	9.2	0.7	12.1	5.0
29歳以下	100.0	20.0	18.3	11.1	25.3	6.2	0.6	15.1	3.4
30～39歳	100.0	16.7	18.5	10.6	30.8	5.7	0.4	15.2	2.1
40～49歳	100.0	19.2	16.7	9.5	30.5	7.1	0.7	13.8	2.5
50～59歳	100.0	19.5	15.9	12.3	28.9	7.2	0.7	12.3	3.2
60～69歳	100.0	17.0	12.3	10.9	31.9	11.1	0.7	10.3	5.8
70歳以上	100.0	20.0	7.8	8.8	29.5	14.0	0.7	9.3	10.0
(再) 65歳以上	100.0	19.4	8.8	9.4	30.2	13.1	0.7	9.4	9.1
男性	100.0	20.6	11.9	9.4	29.5	9.7	0.8	13.3	4.9
29歳以下	100.0	22.1	14.6	11.6	23.3	7.1	1.1	15.8	4.3
30～39歳	100.0	21.8	14.6	8.9	28.7	6.2	0.5	16.8	2.5
40～49歳	100.0	23.0	14.1	8.1	28.4	7.5	0.9	15.0	3.0
50～59歳	100.0	22.7	12.2	11.6	27.2	8.4	1.1	13.5	3.3
60～69歳	100.0	17.9	10.1	9.3	33.0	11.2	0.4	11.9	6.2
70歳以上	100.0	18.0	8.4	8.1	32.1	14.8	0.8	9.4	8.5
(再) 65歳以上	100.0	17.8	8.5	8.6	32.7	13.7	0.7	9.9	8.2
女性	100.0	17.1	15.9	11.2	30.2	8.8	0.6	11.1	5.1
29歳以下	100.0	18.1	21.5	10.7	27.1	5.4	0.2	14.4	2.6
30～39歳	100.0	12.2	22.0	12.0	32.7	5.2	0.3	13.7	1.8
40～49歳	100.0	15.3	19.3	10.9	32.7	6.6	0.6	12.6	1.9
50～59歳	100.0	16.6	19.2	12.9	30.4	6.1	0.4	11.3	3.0
60～69歳	100.0	16.1	14.3	12.2	31.0	11.0	1.0	8.8	5.5
70歳以上	100.0	21.6	7.3	9.3	27.5	13.4	0.6	9.2	11.1
(再) 65歳以上	100.0	20.6	9.0	10.0	28.2	12.7	0.7	9.1	9.8

第14表 世帯員数の構成割合、性・年齢階級別にみた年をとって生活したい場所（人生の最後をむかえるとき）別

(単位: %)

	総数	自宅(これまで 住み続けた 自宅、子どもの 家への転居を 含む)	新しい状況に 合わせて移り住 んだ、高齢者 のための住宅	グループホーム のような高齢者 などが共同生活 を営む住居	特別養護老人 ホームや老人保 健施設などの 施設	病院などの 医療機関	その他	わからない	不詳
総数	100.0	37.5	2.4	1.4	4.6	27.9	0.8	19.9	5.5
29歳以下	100.0	50.0	2.6	1.8	2.9	19.2	0.4	19.6	3.5
30～39歳	100.0	45.1	3.3	2.2	3.3	21.9	0.7	21.2	2.3
40～49歳	100.0	37.9	3.1	1.1	4.2	26.1	1.2	23.6	2.8
50～59歳	100.0	35.5	3.4	1.4	5.7	29.5	0.7	20.2	3.5
60～69歳	100.0	31.2	2.2	1.2	5.7	32.8	1.0	19.6	6.3
70歳以上	100.0	33.6	0.9	1.2	4.7	31.4	0.7	16.6	10.9
(再) 65歳以上	100.0	32.8	1.2	1.2	5.0	32.2	0.9	16.7	9.9
男性	100.0	39.7	1.6	1.1	4.4	26.3	1.0	20.6	5.4
29歳以下	100.0	52.0	1.1	1.5	2.3	17.1	0.6	21.2	4.3
30～39歳	100.0	49.0	2.3	1.8	3.0	18.9	1.0	21.2	2.8
40～49歳	100.0	39.7	2.0	0.9	3.9	24.9	1.4	24.0	3.3
50～59歳	100.0	39.8	2.1	0.7	4.6	27.2	0.6	21.4	3.6
60～69歳	100.0	33.6	1.3	1.0	5.5	31.0	1.1	20.1	6.3
70歳以上	100.0	33.2	1.0	0.8	5.6	31.7	1.0	17.0	9.7
(再) 65歳以上	100.0	33.0	1.1	0.8	5.8	32.0	1.2	16.9	9.2
女性	100.0	35.5	3.1	1.8	4.7	29.3	0.7	19.2	5.7
29歳以下	100.0	48.3	3.9	2.1	3.4	21.0	0.2	18.2	2.8
30～39歳	100.0	41.7	4.2	2.5	3.5	24.6	0.5	21.2	1.8
40～49歳	100.0	36.1	4.2	1.3	4.5	27.3	1.0	23.2	2.4
50～59歳	100.0	31.7	4.6	2.1	6.6	31.6	0.8	19.2	3.4
60～69歳	100.0	29.0	2.9	1.4	5.8	34.5	0.9	19.1	6.4
70歳以上	100.0	34.0	0.8	1.5	3.9	31.1	0.5	16.2	11.9
(再) 65歳以上	100.0	32.6	1.3	1.6	4.4	32.3	0.7	16.6	10.5

第 15 表 世帯員数の構成割合、性・年齢階級別にみた自宅で介護されるとした場合、どのような介護をされたいか別

(単位: %)

	総 数	家族だけに 介護されたい	家族の介護を中心 とし、ホームヘル パーなど外部の者 も利用したい	ホームヘルパーな ど外部の者の介護 を中心とし、あわせ て家族による介護 を受けたい	ホームヘルパーな ど外部の者だけに 介護されたい	その他	わからない	不 詳
総数	100.0	8.1	27.1	34.2	12.0	1.6	16.4	0.7
29歳以下	100.0	11.0	26.1	30.0	9.7	1.4	21.4	0.4
30～39歳	100.0	6.5	24.9	37.4	10.6	0.8	19.5	0.2
40～49歳	100.0	5.2	24.6	33.8	13.2	2.0	20.5	0.6
50～59歳	100.0	6.0	25.7	36.7	13.9	1.5	15.9	0.3
60～69歳	100.0	7.0	28.5	36.4	11.9	1.8	13.5	0.9
70歳以上	100.0	12.2	30.3	30.6	11.7	1.8	12.2	1.2
(再) 65歳以上	100.0	10.8	30.2	32.4	11.7	1.7	12.1	1.1
男性	100.0	9.8	29.1	29.9	10.7	1.5	18.4	0.6
29歳以下	100.0	14.8	24.0	23.5	9.9	1.9	25.3	0.6
30～39歳	100.0	8.4	25.2	31.3	10.1	0.9	23.9	0.3
40～49歳	100.0	7.2	25.6	29.1	11.2	2.0	24.5	0.4
50～59歳	100.0	7.8	30.4	30.4	11.4	1.7	18.2	0.1
60～69歳	100.0	9.3	29.9	32.1	12.0	1.4	14.5	0.8
70歳以上	100.0	12.5	35.3	30.0	9.3	1.3	10.4	1.1
(再) 65歳以上	100.0	11.4	33.9	31.2	10.1	1.1	11.1	1.1
女性	100.0	6.7	25.3	38.0	13.1	1.7	14.6	0.7
29歳以下	100.0	7.7	27.9	35.8	9.5	1.0	17.9	0.2
30～39歳	100.0	4.9	24.7	42.7	11.0	0.8	15.6	0.2
40～49歳	100.0	3.3	23.6	38.7	15.3	2.0	16.4	0.7
50～59歳	100.0	4.5	21.6	42.2	16.1	1.3	13.9	0.4
60～69歳	100.0	5.0	27.3	40.2	11.8	2.1	12.6	0.9
70歳以上	100.0	12.0	26.5	31.1	13.4	2.1	13.5	1.2
(再) 65歳以上	100.0	10.4	27.3	33.3	12.9	2.1	12.9	1.1

第 16 表 世帯員数の構成割合、性・年齢階級別にみた今後 10 年間で家の周りに今以上に増えて欲しいと思う
介護関係の事業所・施設別（複数回答）

(単位: %)

	総数	訪問介護・看護 サービスを提供 する事業所	自宅から通って 利用するデイ サービスを提供 する事業所	通い、泊まり、訪 問が一体的に提 供される小規模 多機能型居宅 介護事業所	グループホーム などの家庭的な 雰囲気での共同生 活を営める 事業所	高齢者のための サービス付きの 住宅	特別養護老人 ホームや老人保 健施設などの 施設	その他	わからない	不 詳
総数	100.0	49.1	33.3	36.5	20.5	30.9	28.6	—	19.4	0.9
29歳以下	100.0	42.6	27.3	33.0	24.5	30.7	20.0	—	26.0	0.3
30～39歳	100.0	46.3	28.7	34.4	22.2	32.5	25.0	—	21.9	0.4
40～49歳	100.0	43.6	31.0	36.0	20.3	34.7	24.9	—	21.0	0.7
50～59歳	100.0	50.4	33.5	40.8	22.5	35.9	29.2	—	15.8	0.4
60～69歳	100.0	51.9	36.1	41.7	20.4	29.3	33.1	—	16.0	1.3
70歳以上	100.0	54.0	37.7	32.4	16.4	25.5	32.9	—	19.1	1.9
(再) 65歳以上	100.0	54.0	37.7	34.3	17.7	26.6	33.1	—	18.1	1.7
男性	100.0	50.9	32.9	33.6	17.6	27.8	28.9	—	21.6	0.8
29歳以下	100.0	40.3	24.0	29.6	17.1	28.9	19.3	—	31.1	0.4
30～39歳	100.0	48.1	28.4	29.6	18.6	27.6	26.0	—	24.2	0.4
40～49歳	100.0	47.0	31.4	29.9	16.7	29.4	24.0	—	25.2	0.4
50～59歳	100.0	53.0	33.8	36.0	21.2	29.6	27.5	—	18.9	0.1
60～69歳	100.0	53.5	36.4	40.0	17.7	27.4	33.6	—	18.1	1.1
70歳以上	100.0	57.0	37.4	33.4	15.1	25.3	35.9	—	17.8	1.9
(再) 65歳以上	100.0	57.0	37.9	34.4	15.9	26.5	35.2	—	17.6	1.7
女性	100.0	47.4	33.6	39.1	23.0	33.7	28.3	—	17.4	1.0
29歳以下	100.0	44.7	30.2	36.0	31.0	32.3	20.5	—	21.5	0.2
30～39歳	100.0	44.7	29.0	38.7	25.4	36.8	24.1	—	19.8	0.3
40～49歳	100.0	40.2	30.6	42.2	24.0	40.0	25.9	—	16.8	0.9
50～59歳	100.0	48.1	33.2	45.0	23.7	41.4	30.7	—	13.0	0.6
60～69歳	100.0	50.5	35.9	43.2	22.8	31.0	32.6	—	14.2	1.4
70歳以上	100.0	51.7	38.0	31.7	17.4	25.6	30.5	—	20.1	1.9
(再) 65歳以上	100.0	51.7	37.5	34.3	19.1	26.7	31.4	—	18.5	1.7

第17表 世帯員数の構成割合、性・年齢階級別にみた老後生活と社会保障の関係について別

(単位:%)

	総 数	老後の生活は自分が考えるべきで、若いときからその準備をする。社会保障にはあまり期待しない	老後の生活の準備はまず自分でするが、全部はできないので、足りない部分は社会保障でみてもらいたい	将来のことは予測できない面があるので、自分で準備するといっても限界がある。社会保障のための負担が重くなってもよいから、老後の生活はなるべく社会保障でみてもらいたい	その他	わからない	不 詳
総数	100.0	11.9	52.8	21.5	1.7	10.6	1.5
29歳以下	100.0	25.7	44.4	12.4	1.8	15.1	0.5
30～39歳	100.0	16.7	50.9	16.9	2.5	12.3	0.6
40～49歳	100.0	12.4	52.2	20.7	3.1	10.3	1.3
50～59歳	100.0	8.1	55.1	26.4	1.6	7.9	1.0
60～69歳	100.0	7.4	58.2	23.9	1.3	7.3	1.9
70歳以上	100.0	9.2	51.8	23.3	0.7	12.7	2.4
(再) 65歳以上	100.0	8.6	53.9	23.2	0.8	11.3	2.2
男性	100.0	14.0	49.7	22.6	1.9	10.5	1.2
29歳以下	100.0	27.8	40.5	11.8	2.4	16.9	0.6
30～39歳	100.0	20.0	46.9	17.4	3.2	11.9	0.5
40～49歳	100.0	16.8	47.3	21.7	2.4	10.8	1.0
50～59歳	100.0	10.3	49.7	28.8	2.0	8.6	0.6
60～69歳	100.0	8.0	54.8	26.4	1.5	7.6	1.7
70歳以上	100.0	9.6	53.2	23.9	0.8	10.2	2.3
(再) 65歳以上	100.0	9.3	53.6	24.8	0.8	9.6	2.1
女性	100.0	10.1	55.5	20.4	1.5	10.8	1.7
29歳以下	100.0	24.0	47.8	13.0	1.1	13.6	0.5
30～39歳	100.0	13.8	54.4	16.4	1.9	12.7	0.7
40～49歳	100.0	7.9	57.3	19.8	3.7	9.7	1.7
50～59歳	100.0	6.1	59.8	24.3	1.2	7.2	1.3
60～69歳	100.0	6.9	61.4	21.5	1.1	7.0	2.1
70歳以上	100.0	8.8	50.7	22.9	0.6	14.5	2.5
(再) 65歳以上	100.0	8.1	54.3	21.9	0.8	12.6	2.4

第18表 世帯員数の構成割合、性・年齢階級別にみた重要と考える社会保障の分野別（複数回答）

(単位:%)

	総数	老後の所得保障(年金)	高齢者医療や介護	子ども・子育て支援	医療保険・医療供給体制	健康の保持、増進	障害者福祉	生活保護	雇用の確保や失業対策	その他	わからない	不詳
総数	100.0	71.1	48.2	29.5	37.6	21.5	7.6	7.0	27.2	0.4	4.8	4.1
29歳以下	100.0	63.4	33.6	46.3	35.4	18.4	8.2	8.8	37.0	0.3	8.0	2.5
30～39歳	100.0	67.0	40.5	50.7	33.0	17.6	7.2	6.1	34.5	0.7	5.7	2.2
40～49歳	100.0	70.1	43.8	34.2	36.8	19.3	8.1	6.3	37.2	0.6	4.8	2.8
50～59歳	100.0	73.4	47.8	27.3	39.5	24.1	7.1	6.9	33.3	0.5	3.0	3.2
60～69歳	100.0	76.0	54.3	22.5	40.5	23.9	7.6	6.8	22.8	0.4	2.9	4.5
70歳以上	100.0	71.7	57.3	13.2	38.1	22.8	7.6	7.4	11.0	0.2	5.5	7.4
(再) 65歳以上	100.0	72.7	57.7	15.4	39.2	23.0	7.7	7.1	13.4	0.2	4.8	6.6
男性	100.0	70.5	47.1	28.9	38.8	21.4	7.7	8.1	26.8	0.5	5.0	3.8
29歳以下	100.0	61.0	30.8	40.9	35.5	19.1	7.3	9.8	37.7	0.4	9.6	3.0
30～39歳	100.0	66.7	38.5	48.7	32.0	17.8	7.1	7.6	34.1	0.9	5.9	2.6
40～49歳	100.0	68.3	41.2	33.7	38.3	19.0	7.6	7.6	35.6	0.8	5.9	2.5
50～59歳	100.0	71.2	46.2	26.6	41.9	24.3	8.4	8.5	30.1	0.2	3.4	3.0
60～69歳	100.0	75.5	54.6	21.8	41.7	23.9	7.6	8.1	22.5	0.7	2.9	4.5
70歳以上	100.0	74.0	59.0	14.4	40.2	22.3	8.1	7.8	11.4	0.2	4.8	6.2
(再) 65歳以上	100.0	74.1	59.2	16.4	41.1	23.2	7.9	7.7	13.7	0.2	4.2	5.6
女性	100.0	71.6	49.1	30.0	36.6	21.5	7.5	6.0	27.5	0.3	4.5	4.4
29歳以下	100.0	65.5	36.1	51.1	35.3	17.7	9.0	7.9	36.3	0.2	6.6	2.1
30～39歳	100.0	67.3	42.3	52.5	33.9	17.3	7.4	4.8	34.9	0.6	5.4	1.8
40～49歳	100.0	72.0	46.3	34.6	35.2	19.7	8.5	4.9	38.9	0.3	3.7	3.0
50～59歳	100.0	75.3	49.2	27.8	37.5	24.0	5.9	5.4	36.1	0.7	2.7	3.3
60～69歳	100.0	76.4	54.0	23.2	39.4	23.8	7.6	5.7	23.1	0.1	2.8	4.5
70歳以上	100.0	70.0	55.9	12.4	36.6	23.1	7.2	7.0	10.8	0.2	6.1	8.3
(再) 65歳以上	100.0	71.6	56.6	14.7	37.7	22.9	7.6	6.6	13.2	0.2	5.3	7.4

第19表 世帯員数の構成割合、性・年齢階級別にみた今後充実させるべきと考える社会保障の分野別（複数回答）

（単位：％）

	総数	老後の所得保障（年金）	高齢者医療や介護	子ども・子育て支援	医療保険・医療供給体制	健康の保持、増進	障害者福祉	生活保護	雇用の確保や失業対策	その他	わからない	不詳
総数	100.0	41.0	37.2	35.9	35.6	24.1	14.0	9.1	39.4	0.8	6.9	5.4
29歳以下	100.0	42.7	34.2	46.1	32.3	18.7	13.1	10.6	44.0	0.3	9.1	3.1
30～39歳	100.0	47.5	37.3	48.1	33.9	21.3	11.6	7.7	39.7	0.9	7.2	2.8
40～49歳	100.0	45.8	40.1	36.8	36.6	20.3	13.2	7.7	44.0	0.8	6.5	3.6
50～59歳	100.0	45.0	41.4	34.1	36.4	25.2	13.3	9.2	45.7	0.4	4.4	4.2
60～69歳	100.0	38.2	37.0	35.9	37.7	27.1	16.6	9.3	40.0	0.8	5.3	5.7
70歳以上	100.0	32.7	33.9	24.5	35.2	27.6	14.6	10.1	29.2	1.2	9.1	10.0
（再）65歳以上	100.0	33.8	34.8	27.9	36.4	27.6	15.3	9.9	31.8	1.0	8.2	8.8
男性	100.0	39.8	36.6	34.8	36.1	25.0	14.0	10.8	39.0	0.8	7.2	5.2
29歳以下	100.0	40.7	34.3	41.1	32.8	19.7	12.0	11.3	41.7	0.2	10.5	3.6
30～39歳	100.0	46.0	34.0	44.7	33.3	22.9	11.5	9.9	40.2	0.9	7.5	3.2
40～49歳	100.0	42.7	38.3	36.0	35.9	20.1	14.0	9.8	41.5	1.1	7.8	3.5
50～59歳	100.0	42.6	41.5	32.9	36.7	27.3	13.0	11.7	42.7	0.4	5.0	3.9
60～69歳	100.0	37.9	36.5	33.3	39.6	27.5	15.9	10.5	39.7	0.7	5.6	6.2
70歳以上	100.0	32.7	34.6	27.0	35.9	28.8	15.7	11.4	31.5	1.1	7.9	8.5
（再）65歳以上	100.0	33.4	35.2	29.6	38.3	28.8	15.7	10.8	33.7	0.9	7.5	7.7
女性	100.0	42.1	37.8	36.9	35.2	23.4	13.9	7.7	39.8	0.8	6.6	5.7
29歳以下	100.0	44.5	34.2	50.4	31.9	17.7	14.1	10.0	46.1	0.3	7.9	2.6
30～39歳	100.0	48.8	40.1	51.1	34.4	19.8	11.7	5.7	39.3	0.9	6.9	2.5
40～49歳	100.0	49.0	41.8	37.6	37.2	20.6	12.4	5.6	46.6	0.6	5.1	3.6
50～59歳	100.0	47.1	41.3	35.2	36.1	23.4	13.5	7.1	48.4	0.4	3.9	4.5
60～69歳	100.0	38.6	37.5	38.2	36.0	26.7	17.3	8.2	40.3	0.8	4.9	5.4
70歳以上	100.0	32.8	33.4	22.5	34.6	26.7	13.7	9.2	27.4	1.2	10.0	11.1
（再）65歳以上	100.0	34.1	34.4	26.5	34.9	26.7	15.0	9.2	30.3	1.1	8.7	9.7

第20表 世帯員数の構成割合、性・年齢階級別にみた社会保障の給付と負担の関係について別

（単位：％）

	総数	給付水準を引き上げ、そのための負担増もやむを得ない	給付水準を維持し、少子高齢化による負担増はやむを得ない	ある程度の給付水準の引き下げ、及び負担増もやむを得ない	給付水準を引き下げ、従来どおりの負担とするべき	給付水準を大幅に引き下げ、負担を減らすべき	その他	わからない	不詳
総数	100.0	12.6	25.9	18.3	8.1	6.6	4.7	22.3	1.6
29歳以下	100.0	12.3	18.9	16.2	10.3	7.2	5.1	29.5	0.4
30～39歳	100.0	10.6	22.6	18.1	8.5	6.8	7.5	25.7	0.3
40～49歳	100.0	11.6	24.5	18.1	8.9	7.4	6.4	21.9	1.2
50～59歳	100.0	14.8	25.6	21.8	7.9	5.9	5.3	17.2	1.5
60～69歳	100.0	12.7	29.4	20.4	6.4	6.1	3.4	19.2	2.2
70歳以上	100.0	12.9	29.3	15.1	7.9	6.5	2.2	23.3	2.8
（再）65歳以上	100.0	12.3	30.1	16.3	7.5	6.5	2.5	22.2	2.7
男性	100.0	14.4	26.0	18.3	8.5	6.8	5.3	19.1	1.5
29歳以下	100.0	12.8	18.2	15.0	11.4	8.6	4.5	29.1	0.4
30～39歳	100.0	12.0	23.9	16.9	10.2	7.6	9.0	19.9	0.4
40～49歳	100.0	13.7	24.5	17.1	8.7	8.3	7.1	19.4	1.1
50～59歳	100.0	17.2	24.4	22.2	8.5	5.8	5.7	14.9	1.3
60～69歳	100.0	15.0	28.1	20.3	6.7	6.0	4.3	17.5	2.1
70歳以上	100.0	14.7	31.6	16.8	7.6	5.9	2.5	18.1	2.7
（再）65歳以上	100.0	14.1	32.2	17.7	7.2	6.3	2.6	17.3	2.5
女性	100.0	11.0	25.8	18.3	7.7	6.3	4.1	25.0	1.7
29歳以下	100.0	12.0	19.5	17.2	9.4	5.9	5.6	29.9	0.5
30～39歳	100.0	9.3	21.4	19.0	7.0	6.0	6.2	30.7	0.2
40～49歳	100.0	9.4	24.4	19.1	9.1	6.5	5.6	24.4	1.3
50～59歳	100.0	12.7	26.7	21.5	7.4	5.9	5.0	19.2	1.7
60～69歳	100.0	10.7	30.6	20.5	6.1	6.3	2.7	20.8	2.3
70歳以上	100.0	11.5	27.5	13.8	8.1	7.0	2.1	27.3	2.8
（再）65歳以上	100.0	10.8	28.5	15.1	7.7	6.7	2.4	26.0	2.8

第21表 世帯員数の構成割合、性・世帯の家計支出額（月額）別にみた社会保障の給付と負担の関係について別

(単位: %)

	総数	給付水準を引き上げ、そのため負担増もやむを得ない	給付水準を維持し、少子高齢化による負担増はやむを得ない	ある程度の給付水準の引き下げ、及び負担増もやむを得ない	給付水準を引き下げ、従来どおりの負担とするべき	給付水準を大幅に引き下げ、負担を減らすべき	その他	わからない	不詳
総数	100.0	12.6	25.9	18.3	8.1	6.6	4.7	22.3	1.6
10万円未満	100.0	12.4	24.9	15.3	8.6	6.7	2.3	27.2	2.6
10万円 ～ 20万円未満	100.0	11.8	25.2	18.2	7.4	7.3	3.8	24.4	2.1
20万円 ～ 30万円未満	100.0	12.3	26.0	18.1	8.4	6.5	4.9	22.4	1.4
30万円 ～ 40万円未満	100.0	13.0	27.9	19.2	7.7	6.1	5.7	19.3	1.2
40万円 ～ 50万円未満	100.0	14.1	27.2	18.3	8.8	6.5	5.7	18.7	0.6
50万円 ～ 60万円未満	100.0	15.3	21.4	18.2	11.0	5.5	5.2	22.0	1.4
60万円以上	100.0	14.9	24.2	23.4	8.2	4.2	5.1	18.0	2.0
不詳	100.0	8.4	21.0	11.9	8.4	9.8	5.6	31.5	3.5
男性	100.0	14.4	26.0	18.3	8.5	6.8	5.3	19.1	1.5
10万円未満	100.0	14.0	23.1	16.3	9.1	8.0	2.3	24.2	3.0
10万円 ～ 20万円未満	100.0	12.6	26.1	18.1	7.7	7.7	4.2	21.4	2.1
20万円 ～ 30万円未満	100.0	14.4	26.4	17.7	8.6	7.0	6.0	18.7	1.3
30万円 ～ 40万円未満	100.0	14.8	27.8	19.1	8.0	6.0	6.5	16.9	0.9
40万円 ～ 50万円未満	100.0	16.0	25.9	18.9	9.9	7.2	5.9	15.5	0.8
50万円 ～ 60万円未満	100.0	19.3	21.7	17.4	12.4	3.7	3.7	21.1	0.6
60万円以上	100.0	18.3	23.1	25.4	10.1	4.7	4.1	12.4	1.8
不詳	100.0	15.2	16.7	12.1	9.1	7.6	6.1	28.8	4.5
女性	100.0	11.0	25.8	18.3	7.7	6.3	4.1	25.0	1.7
10万円未満	100.0	11.4	26.1	14.7	8.4	5.8	2.3	29.1	2.3
10万円 ～ 20万円未満	100.0	11.0	24.4	18.2	7.1	6.9	3.4	26.9	2.0
20万円 ～ 30万円未満	100.0	10.5	25.6	18.4	8.1	6.2	4.0	25.6	1.5
30万円 ～ 40万円未満	100.0	11.2	28.1	19.3	7.5	6.2	4.9	21.4	1.5
40万円 ～ 50万円未満	100.0	12.4	28.5	17.7	7.8	5.8	5.6	21.7	0.5
50万円 ～ 60万円未満	100.0	11.9	21.1	18.9	9.7	7.0	6.5	22.7	2.2
60万円以上	100.0	11.8	25.3	21.5	6.5	3.8	5.9	23.1	2.2
不詳	100.0	2.6	24.7	11.7	7.8	11.7	5.2	33.8	2.6

第22表 世帯員数の構成割合、性・年齢階級にみた少子高齢化が進行する状況における高齢者と現役世代の負担水準の考え方について別

(単位: %)

	総数	現役世代の負担の上昇を緩和するために、高齢者の負担が今より重くなることはやむを得ない	高齢者の負担は現状程度で留めるべきであり、少子高齢化による負担増は、現役世代が負担するべきである	高齢者の負担は現状でも重いので負担を引き下げ、現役世代の負担を大幅に増やすべきである	その他	わからない	不詳
総数	100.0	30.4	27.0	5.2	6.7	29.0	1.7
29歳以下	100.0	31.6	26.4	2.9	5.7	32.7	0.7
30～39歳	100.0	29.1	28.4	3.3	8.6	30.3	0.4
40～49歳	100.0	31.9	24.4	4.1	9.5	28.7	1.4
50～59歳	100.0	34.0	26.9	4.3	7.4	25.8	1.6
60～69歳	100.0	30.5	27.4	5.7	6.5	27.4	2.5
70歳以上	100.0	27.3	27.7	8.3	3.7	30.3	2.7
(再) 65歳以上	100.0	28.0	27.2	7.8	4.3	30.0	2.7
男性	100.0	33.0	28.1	5.8	7.1	24.5	1.5
29歳以下	100.0	35.3	24.8	2.8	5.3	31.3	0.6
30～39歳	100.0	31.5	29.1	4.1	9.7	24.9	0.6
40～49歳	100.0	33.5	25.1	4.9	9.2	26.3	1.1
50～59歳	100.0	37.0	28.4	5.3	6.6	21.3	1.3
60～69歳	100.0	33.0	28.6	5.9	7.5	22.8	2.2
70歳以上	100.0	29.7	30.7	9.2	4.4	23.5	2.5
(再) 65歳以上	100.0	30.8	29.8	8.4	5.2	23.5	2.3
女性	100.0	28.2	26.0	4.7	6.3	32.9	1.9
29歳以下	100.0	28.4	27.8	3.0	6.1	34.0	0.8
30～39歳	100.0	27.0	27.8	2.6	7.6	34.9	0.1
40～49歳	100.0	30.4	23.6	3.4	9.8	31.2	1.7
50～59歳	100.0	31.3	25.6	3.4	8.1	29.7	1.9
60～69歳	100.0	28.3	26.4	5.4	5.6	31.5	2.7
70歳以上	100.0	25.5	25.5	7.7	3.1	35.4	2.8
(再) 65歳以上	100.0	25.9	25.2	7.3	3.6	35.2	2.9

第23表 世帯員数の構成割合、性・世帯の所得階級別にみた少子高齢化が進行する状況における
高齢者と現役世代の負担水準の考え方について別

(単位:%)

	総 数	現役世代の負担の 上昇を緩和するため に、高齢者の負担が 今より重くなることは やむを得ない	高齢者の負担は 現状程度で留める べきであり、少子高 齢化による負担増 は、現役世代が 負担するべきである	高齢者の負担は現 状でも重いので負担 を引き下げ、現役世 代の負担を大幅に 増やすべきである	その他	わからない	不 詳
総数	100.0	30.4	27.0	5.2	6.7	29.0	1.7
100万円未満	100.0	19.6	24.4	8.4	5.1	39.2	3.3
100万円 ～ 200万円未満	100.0	23.4	24.7	8.3	3.9	37.4	2.2
200万円 ～ 300万円未満	100.0	26.4	28.5	6.2	5.6	31.0	2.3
300万円 ～ 400万円未満	100.0	28.7	29.8	7.8	5.4	26.6	1.7
400万円 ～ 500万円未満	100.0	28.6	26.5	4.7	7.1	31.4	1.6
500万円 ～ 600万円未満	100.0	29.8	26.9	4.9	8.2	29.2	0.9
600万円 ～ 700万円未満	100.0	33.7	27.8	4.8	7.1	25.8	0.8
700万円 ～ 800万円未満	100.0	29.2	28.7	4.5	8.9	27.0	1.7
800万円 ～ 900万円未満	100.0	35.0	25.5	3.9	7.2	26.6	1.9
900万円 ～ 1,000万円未満	100.0	38.8	27.3	2.8	8.0	22.1	0.9
1,000万円以上	100.0	39.7	26.8	2.4	7.2	22.6	1.3
不詳	100.0	23.3	22.9	5.2	6.7	38.5	3.4
男性	100.0	33.0	28.1	5.8	7.1	24.5	1.5
100万円未満	100.0	22.5	24.8	14.0	6.2	29.5	3.1
100万円 ～ 200万円未満	100.0	24.9	24.7	9.6	4.5	34.3	2.0
200万円 ～ 300万円未満	100.0	27.8	30.7	6.5	5.3	27.2	2.5
300万円 ～ 400万円未満	100.0	30.7	32.9	7.7	5.7	21.7	1.4
400万円 ～ 500万円未満	100.0	31.1	26.4	5.8	7.0	28.0	1.6
500万円 ～ 600万円未満	100.0	31.5	27.5	6.1	9.1	25.3	0.6
600万円 ～ 700万円未満	100.0	37.6	28.0	5.3	7.4	20.9	0.8
700万円 ～ 800万円未満	100.0	30.8	30.8	4.9	10.0	22.3	1.3
800万円 ～ 900万円未満	100.0	35.6	29.0	4.0	7.5	22.4	1.4
900万円 ～ 1,000万円未満	100.0	41.2	28.5	2.2	9.4	17.6	1.1
1,000万円以上	100.0	43.7	26.5	3.1		18.6	1.1
不詳	100.0	24.1	23.3	5.6	6.7	36.7	3.7
女性	100.0	28.2	26.0	4.7	6.3	32.9	1.9
100万円未満	100.0	18.2	24.2	5.7	4.5	43.9	3.4
100万円 ～ 200万円未満	100.0	22.4	24.8	7.4	3.4	39.6	2.4
200万円 ～ 300万円未満	100.0	25.3	26.7	5.9	5.9	34.1	2.2
300万円 ～ 400万円未満	100.0	26.7	26.9	8.0	5.2	31.2	2.0
400万円 ～ 500万円未満	100.0	26.3	26.6	3.7	7.1	34.5	1.6
500万円 ～ 600万円未満	100.0	28.3	26.4	3.9	7.4	32.9	1.1
600万円 ～ 700万円未満	100.0	30.1	27.7	4.4	6.8	30.3	0.7
700万円 ～ 800万円未満	100.0	27.7	26.7	4.1	8.0	31.3	2.2
800万円 ～ 900万円未満	100.0	34.3	22.0	3.7	6.9	30.9	2.3
900万円 ～ 1,000万円未満	100.0	36.5	26.2	3.3	6.6	26.6	0.7
1,000万円以上	100.0	35.9	27.0	1.8	7.4	26.5	1.5
不詳	100.0	22.6	22.6	4.9	6.7	40.0	3.2

調 査 票



平成24年 高齢期における社会保障に関する意識等調査

【お願い】

現在、日本では少子高齢化といった人口構成の大きな変化、家族形態、地域基盤の変化など、社会保障制度を支える情勢は刻々と変化しています。こういった状況の変化に対応するため、社会保障の機能強化及び社会保障全体の持続可能性の確保を図るための制度の見直しが必要とされています。

この調査は、老後の生活感や社会保障に係る負担のあり方などについての意識を調査し、社会保障制度改革を始めとした今後の厚生労働行政施策の企画・立案のための基礎資料を得ることを目的とした大切な調査です。

お答えになった内容については必ず秘密を守りますので、ありのままをお答えくださるようお願いいたします。

【記入上の注意】

1. 調査票は、20歳以上の方ひとりひとりにお配りいたしますので、それぞれの方がお答えください。
2. お答えは該当する番号を○で囲むか、数字を記入してください。
3. 質問の内容や、その他わからないことがありましたら、調査員がお伺いしたときにおたずねください。

【この欄は、あらかじめ調査員の方が記入してください】

地 区 番 号						単 位 区 番 号			世 帯 番 号		
------------	--	--	--	--	--	--------------	--	--	------------	--	--

都道府県
指定都市 名 _____
中 核 市

福祉事務所名 _____

調 査 員 氏 名 _____

I あなた自身のことについてお聞かせください。

問 1

あなたの出生年月と性別をお答えください。

該当するものの番号を○で囲み、出生年月を記入してください。

1. 明治 3. 昭和
2. 大正 4. 平成

年

月

1. 男 2. 女

II あなたの老後感等についてお聞かせください。

問 2

あなたは、何歳ぐらいからを老後と考えますか。

あてはまるものを次の中から 1つだけ 選んで、該当する番号に○を付けてください。

- | | | |
|----------|----------|---------------------------------|
| 1. 55歳から | 4. 70歳から | 7. その他 () |
| 2. 60歳から | 5. 75歳から | 8. わからない |
| 3. 65歳から | 6. 80歳以上 | |

問 3

あなたは、「老後の生活」といった場合にどのような生活を思い浮かべますか。
(すでに老後生活を送られている方は、ご自身の経験に基づいてお答えください。)

あてはまるものを次の中から 2つまで 選んで、該当する番号に○を付けてください。
(複数回答可)

- | | |
|-------------------------------|---------------------------------|
| 1. 仕事から引退したり、仕事を人に任せるようになった生活 | 6. 年金を受給するようになった生活 |
| 2. 家事を人に任せるようになった生活 | 7. 老化に伴い体の自由がきかなくなった生活 |
| 3. 配偶者と死別した生活 | 8. 生涯現役と考えているので、現役と特に変わるところはない |
| 4. 子どもが結婚したり独立した後の生活 | 9. その他 () |
| 5. 同一世帯で子どもが世帯主となった後の生活 | 10. わからない |

問 4

あなたは、老後生活の中でどのようなことに生きがいを感じますか。
(すでに老後生活を送られている方は、現在の生きがいをお答えください。)

あてはまるものを次の中から 3つまで選んで、該当する番号に○を付けてください。
(複数回答可)

- | | |
|-----------------------|---------------------------------|
| 1. 働くこと | 7. 社会奉仕活動（ボランティア）への参加 |
| 2. 学ぶこと | 8. スポーツをすること |
| 3. 家族との団らん | 9. 教養・趣味を高めること |
| 4. 子どもや孫の成長 | 10. その他（ ） |
| 5. 友人や地域の人との交流 | 11. わからない |
| 6. 老人クラブ活動などの地域活動への参加 | |

問 5

あなたにとって、老後に最も不安が感じられるものは何ですか。
(すでに老後生活を送られている方は、現在の不安をお答えください。)

あてはまるものを次の中から **1つだけ**選んで、該当する番号に○を付けてください。

1. 健康の問題
2. 生活費の問題
3. 住居の問題
4. 家族とのつながりの問題
5. 生きがいの問題
6. 大きな不安はない
7. その他 ()
8. わからない

問 6

あなたは何歳まで働きたい（収入を伴う仕事をしたい）とお考えですか。
（すでに仕事から引退した方は、何歳まで働いていたか。また、現在収入を伴う仕事をしていない方は、働くとした場合、何歳まで働きたいかをお答えください。）

あてはまるものを次の中から **1** つだけ選んで、該当する番号に○を付けてください。

1. 55歳まで 4. 70歳まで 7. その他（ 歳まで）
2. 60歳まで 5. 75歳まで 8. 生涯働きつづけたい
3. 65歳まで 6. 80歳まで 9. わからない

問 7

あなたは、老後に働く（収入を伴う仕事をする）場合、どのような働き方をお望みですか。
（すでに老後生活を送られている方は、現在の希望する働き方をお答えください。）

あてはまるものを次の中から **1** つだけ選んで、該当する番号に○を付けてください。

1. 現役世代と同じようにフルタイムで働きたい 4. その他（ ）
2. 働く日数を減らしたり、時間を短くして働きたい 5. わからない
3. 老後は働かずに過ごしたい

問 8

あなたは、あなた自身の老後の生計を支える手段としてどのようなものを考えていますか。（すでに老後生活を送られている方は、現在あなたの生計を支えているものをお答えください。）

あてはまるものを次の中から 1つだけ 選んで、該当する番号を A、B それぞれの“□”の中に記入してください。

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 自分の就労による収入 | 6. 親など親族からの相続 |
| 2. 配偶者の就労による収入 | 7. 子どもなど親族からの援助や仕送り |
| 3. 国民年金や厚生年金など、公的年金 | 8. 家賃や銀行の利子などの資産収入 |
| 4. 勤務先の企業年金 | 9. 個人年金 |
| 5. 貯蓄または退職金の取り崩し | 10. その他（ ） |

(該当する番号を記入)

→ A. 1 番目に頼りにするもの

→ B. 2 番目に頼りにするもの

問 9

あなたが年をとって、介護を必要とする状態となった場合、自宅で介護されるとしたらどのような形の介護をされたいですか。（すでに年をとって介護を受けている方は、現在の希望をお答えください。）

あてはまるものを次の中から 1つだけ 選んで、該当する番号に○を付けてください。

1. 家族だけに介護されたい
2. 家族の介護を中心とし、ホームヘルパーなどの外部の者も利用したい
3. ホームヘルパーなど外部の者の介護を中心とし、あわせて家族による介護を受けたい
4. ホームヘルパーなど外部の者だけに介護されたい
5. その他（ ）
6. わからない

問10

あなたの「老後生活」では、子どもとの同居又は別居についてどうお考えですか。（すでに老後生活を送られている方は、現在の希望をお答えください。）

あてはまるものを次の中から 1つだけ 選んで、該当する番号に○を付けてください。

- | | |
|---------------------------|-----------|
| 1. 同居したい | 5. 別居したい |
| 2. 元気なうちは別居し、病気になったら同居したい | 6. その他（ ） |
| 3. 配偶者がいなくなったら同居したい | 7. わからない |
| 4. 子どもが近くにいれば別居でもよい | |

問11

あなたが年をとって、（A 配偶者がいなくなり1人となった場合）、（B 介護を必要とする状態となった場合）、（C 人生の最後をむかえるとき）に、それぞれどのような場所で生活したいと思いますか。
（すでに年をとってA、Bのような状態の方は、現在の希望をお応えください。）

あてはまるものを次の中から 1つだけ 選んで、該当する番号を A、B、C それぞれの “□” の中に記入してください。（A、B、C における重複回答可）

1. 自宅（これまで住み続けた自宅、子どもの家への転居を含む）
2. 新しい状況に合わせて移り住んだ、高齢者のための住宅（バリアフリー対応住宅や、サービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホームなど）
3. グループホームのような高齢者などが共同生活を営む住居
4. 特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設
5. 病院などの医療機関
6. その他（ ）
7. わからない

(該当する番号を記入)

- ▶ A. 配偶者がいなくなり 1 人となった場合
- ▶ B. 介護を必要とする状態となった場合
- ▶ C. 人生の最後をむかえるとき

問12

今後10年間で、あなたの家の周りに今以上に増えて欲しいと思う介護関係の事業所・施設は次のうちどれですか。

あてはまるものを次の中から 3つまで選んで、該当する番号に○を付けてください。
(複数回答可)

1. 自宅にヘルパーや看護師が訪れる、訪問介護・看護サービスを提供する事業所
2. 自宅から通って利用するデイサービスを提供する事業所
3. 通い、泊まり、訪問が一体的に提供される小規模多機能型居宅介護事業所
4. グループホームなどの家庭的な雰囲気での共同生活を営める事業所
5. 高齢者のためのサービス付きの住宅
6. 特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設
7. その他（
8. わからない

Ⅲ 社会保障制度に対する意識についてお聞かせください。

問13

あなたは、老後生活と社会保障（年金、医療、福祉など）の関係について、どのようにお考えですか。

あてはまるものを次の中から1つだけ選んで、該当する番号に○を付けてください。

1. 老後の生活は自分が考えるべきで、若いときからその準備をする。社会保障にはあまり期待しない
2. 老後の生活の準備はまず自分ですが、全部は出来ないので、足りない部分は社会保障でみてもらいたい
3. 将来のことは予測できない面があるので、自分で準備するといっても限界がある。社会保障のための負担が重くなってもよいから、老後の生活はなるべく社会保障でみてもらいたい
4. その他（ ）
5. わからない

問14

少子高齢化や、家族形態、地域基盤などの変化が進行するなか、あなたが重要と考える社会保障の分野はどれだと思いますか。また、現在、不十分であることから今後更に充実させる必要があると考える社会保障の分野はどれだと思いますか。

あてはまるものを次の中から3つまで選んで、該当する番号をA、Bそれぞれの“□”の中に記入してください。（複数回答可、A、Bにおける重複回答可）

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 老後の所得保障（年金） | 6. 障害者福祉 |
| 2. 高齢者医療や介護 | 7. 生活保護 |
| 3. 子ども・子育て支援 | 8. 雇用の確保や失業対策 |
| 4. 医療保険・医療供給体制 | 9. その他（ ） |
| 5. 健康の保持、増進 | 10. わからない |

（該当する番号を記入）

→ A. 重要と考えるもの

→ B. 今後、充実させるべきもの

--	--	--

--	--	--

問15

少子高齢化により、高齢者を支える現役世代が減少していくことが見込まれますが、あなたは、今後の社会保障の給付と負担の関係は、どのようにあるべきだと思いますか。

あてはまるものを次の中から 1つだけ選んで、該当する番号に○を付けてください。

1. 社会保障の給付水準を引き上げ、そのための負担増もやむを得ない
2. 社会保障の給付水準を維持し、少子高齢化による負担増はやむを得ない
3. 社会保障の給付水準をある程度引き下げつつ、ある程度の負担増もやむを得ない
4. 社会保障の給付水準を引き下げ、従来どおりの負担とするべき
5. 社会保障の給付水準を大幅に引き下げ、負担を減らすべき
6. その他（ ）
7. わからない

問16

少子高齢化が進むなかで、安定した社会保障を維持するためには一定の負担増が避けられないと見込まれますが、あなたは、高齢者と現役世代の負担水準についてどのようにあるべきだと思いますか。

あてはまるものを次の中から 1つだけ選んで、該当する番号に○を付けてください。

1. 現役世代の負担の上昇を緩和するために、高齢者の負担が今より重くなることはやむを得ない
2. 高齢者の負担は現状程度で留めるべきであり、少子高齢化による負担増は、現役世代が負担するべきである
3. 高齢者の負担は現状でも重いので負担を引き下げ、現役世代の負担を大幅に増やすべきである
4. その他（ ）
5. わからない

ご協力ありがとうございました。